消防年報

令和2年版

根室市消防本部

はしがき

１　この年報は、令和２年中の根室市の消防に関する諸般の事項を統計的に集録して、消防現勢を明らかにし、今後の消防行政の参考とするために編集したものです。

２　この年報は、令和２年１２月３１日現在の資料を収録したものです。

令和３年２月

根室市消防本部

目　　次

総務関係

根室市消防の歩み ---------- 1
位置・面積 ---------- １２
人口・世帯 ---------- １２
消防予算及び決算 ---------- １２
消防力の現勢 ---------- １３
消防相互応援協定等の状況 ---------- １３
組織機構図 ---------- １４
消防職員数 ---------- １５
消防職員配置状況 ---------- １５
消防職員勤続年数 ---------- １６
消防職員年齢 ---------- １６
消防団員数 ---------- １６
消防団員配置状況 ---------- １７
消防団員勤続年数 ---------- １７
消防団員年齢 ---------- １８
庁舎概要 ---------- １８
根室市防災ヘリポート ---------- １８
消防職員免許等資格取得状況 ---------- １９
消防機械置場 ---------- ２０

火災関係

火災等発生状況 ---------- ２１
火災種別発生件数 ---------- ２２
火災種別割合 ---------- ２２
月別火災等発生状況 ---------- ２３
原因別火災等発生状況 ---------- ２４
時間・曜日・覚知別火災発生状況 ---------- ２５

予防関係

予防事務処理状況 ---------- ２６
危険物関係事務処理状況 ---------- ２７
防火団体結成状況 ---------- ２８
防火対象物及び中高層建築物状況 ---------- ２９
消防訓練等指導状況 ---------- ３０
予防広報等実施状況 ---------- ３０
建築物同意事務処理状況 ---------- ３１

警防関係

有線通信施設配置状況 ---------- ３２
無線通信施設配置状況 ---------- ３２
衛星携帯電話配置状況 ---------- ３２
防災行政用無線 ---------- ３２
救助出動件数及び活動件数 ---------- ３３
救助事故種別出動人員及び活動人員 ---------- ３３
救助器具保有状況 ---------- ３４
消防車両現勢 ---------- ３５
小型動力ポンプ配置状況 ---------- ３６
消防用資機材保有状況 ---------- ３６
消火薬剤現有状況 ---------- ３６
水利施設 ---------- ３７

救急関係

救急出動状況 ---------- ３８
月別救急出動件数 ---------- ３９
事故種別出動件数 ---------- ３９
事故種別・応急処置対象人員 ---------- ４０
応急処置内容 ---------- ４０
事故種別・傷病程度別搬送人員 ---------- ４１
年齢層別・傷病程度別搬送人員 ---------- ４１
事故種別・年齢層別搬送人員 ---------- ４１
事故種別・曜日別出動件数 ---------- ４１
休日・平日・時間別出動件数 ---------- ４２
医療機関別搬送人員 ---------- ４３
転院搬送状況 ---------- ４４
道東ドクターヘリ運航状況 ---------- ４４

附　表

過去１０年間の火災等発生状況 ---------- ４５
過去１０年間の火災関係分類別推移 ---------- ４６
過去１０年間の原因別火災等発生状況 ---------- ４７
過去１０年間の建物用途別火災及び死者発生状況 ---------- ４８
過去の特殊火災記録（市制施行後） ---------- ４９
年別火災等発生状況（市制施行後） ---------- ５２
過去１０年間の救助出動件数及び活動件数 ---------- ５４
過去１０年間の救急出動状況 ---------- ５５
過去１０年間の救急出動件数及び搬送人員の推移 ---------- ５６

総　務　関　係

根室市消防庁舎

根室市消防の歩み

西　暦	年　　号	事　　項
１８７５年	明治　８年	町内有志により私設消防隊設立。元締鈴木松吉
１８７８年	明治１１年　３月　５日	警察署長が私設消防隊の指揮を命じられる。
１８７９年	明治１２年　１月２７日	出火、その他非常警戒にかかわる号鐘の打数を定める。
１８８０年	明治１３年　４月　１日	820 円 40 銭の官費をもって消防組を設置
１８８１年	明治１４年　９月２０日	根室市街消防組規則制定　組員 60 名。組頭に嵯峨啓藏就任
１８８２年	明治１５年　６月１２日	花咲学校に間借りの根室県仮庁舎、全焼する。
１８８３年	明治１６年　４月　１日	公設消防組に改組　西組、南組の二部制　西部頭取嵯峨啓藏　南部頭取廣瀬勝次就任
１８８６年	明治１９年１２月３０日	花咲町１丁目より出火。150 戸焼く。
１８９１年	明治２４年　５月　１日	弥生町１丁目より出火。2、3 丁目に延焼し 193 戸を焼き、千島樓を除き遊廓全滅する。
１８９４年	明治２７年	勅令消防組規則の公布　西南両部を統合し公設根室消防組に改組　三番組制で各番小頭１名組員 50 名により組織　初代消防組頭嵯峨啓藏就任
	３月２２日	午後 7 時 20 分大地震発生、住民屋外に二昼夜避難（被災戸数 877 戸、建物破損 39 棟、土蔵破損 33 棟、石蔵・煉瓦蔵破損 5 棟、負傷者 4 名、4 月 11 日までの震動回数 402 回、うち強震 10 回、弱震 109 回、微震 283 回）
１８９５年	明治２８年１０月　３日	午前 4 時花咲町１丁目明治屋より出火。午前 8 時鎮火。弥生町、緑町、清隆町、弥栄町、常盤町、花咲町、梅ヶ枝町、平内町を焼く。（焼損棟数 634 棟、889 戸）
１８９７年	明治３０年１２月２０日	午前 5 時本町 3 丁目呉服店より出火。午前 10 時鎮火。本町、梅ヶ枝町、花咲町、常盤町、松ヶ枝町、有磯町、鳴海町、緑町に延焼する。（焼失棟数 497 棟、663 戸、倉庫 3 棟、物置 4 棟）
１９１０年	明治４３年１１月３０日	従来、消防組のほか私設夜警番が各所設けられていたが道庁令に基づき火災予防組合に改める。
１９１３年	大正　２年	消防組を部制に改める。組頭に嵯峨啓藏、第 1 部部長に中村房太郎、第 2 部部長に杉山佐市、第 3 部部長に奥村善蔵就任
１９２０年	大正　９年	根室銀行より蒸気ポンプ寄贈
	７月１０日	鳴海町畳店より出火。87 戸焼く。
１９２２年	大正１１年	3 番組制を 4 部制に編成　2 代目消防組頭川村省三就任　手曳ガソリンポンプ 2 台購入
	１１月２１日	弥生町 3 丁目旅館より出火。108 戸焼く。
１９２３年	大正１２年１１月２９日	弥生町 9 丁目遊廓加茂川樓より出火。187 戸焼き 4 人焼死する。
１９２４年	大正１３年　４月	3 代目消防組頭田渕幸次郎就任

西　暦	年　　号	事　　項
１９２４年	大正１３年　４月	Ｔ型フォードノーザン式自動車ポンプを購入し、第１部に配置
	６月３０日	午前３時頃本町３丁目根室郵便局より出火。57 戸焼く。
	７月　１日	Ｔ型フォード自動車に市原式タービンガソリンポンプを積載して第２部に配置し、運転手１名を常備 第１部に小頭１名、消防手５名を常備員として配置 第２部に第１部と同型の自動車ポンプを配置し、常備運転手１名配属
１９２６年	大正１５年１２月２５日	ダッチブラザー自動車市原式タービンポンプを購入して第３部に配置し、小頭１名消防手５名を常備員として配置
１９２８年	昭和　３年	ダッチブラザー市原式タービンポンプ自動車を購入して第１部に配置。第１部のＴ型フォードノーザン式自動車ポンプを第４部に配置替えし、運転手１名を採用 各部に自動車ポンプの配置を完了し半常備体制を確立
１９３１年	昭和　６年　９月１９日	緑町２丁目第二朝日館より出火。47 棟焼く。
１９３５年	昭和１０年１１月２５日	花咲郡歯舞村に公設歯舞消防組創設
１９３６年	昭和１１年１２月１７日	第１部（弥生町）、第２部（緑町）、第３部（朝日町）、第４部（鳴海町）の番屋を廃止　朝日町２丁目９番地に消防庁舎を新築（木造モルタル２階建 170 坪、鉄骨望楼高さ 15m）し、集合体制を採用
１９３７年	昭和１２年　４月　１日	４代目消防組頭小林惣吉就任
１９３８年	昭和１３年　３月１０日	根室郡和田村に公設和田村消防組創設
	４月　１日	組織の一部を改編し、常備消防本部創設　常備消防本部長に石月石五郎就任
１９３９年	昭和１４年　３月	碓氷勝三郎氏より 1938 年式 V8 フォードコンマシャルシャシーに大阪森田ポンプを架装の自動車ポンプ寄贈 碓氷号と命名
	４月　１日	勅令警防団令施行。警防団を編成。初代警防團長碓氷勝三郎就任。警防団長の下に団本部事務を扱う常備消防本部、東部管轄の第１分団、西部及び花咲地区管轄の第２分団を配置 勅令により和田消防組を和田警防団に改称。（定員 135 名）初代警防団長に能戸直太郎就任
	４月１６日	勅令により歯舞村警防団結成（定員 241 名）大高伝之助警防団長就任
	１０月２０日	38 年式フォード消防ポンプ車購入
	１１月１６日	千島町２丁目民家より出火。78 戸焼失、焼死者２名
１９４３年	昭和１８年　４月　１日	２代目警防團長に兼古萬吉就任
１９４４年	昭和１９年　６月３０日	３代目警防團長に川端元治就任
	７月　１日	大東亜戦争の鮮烈化のため道庁長官指令に基づき芽室、

西　暦	年　　号	事　　項
		池田、常呂各町より自動車ポンプ各１台を応援配置
１９４４年	昭和１９年　８月　１日	常備消防本部を常備消防分団に改称し、分団長南野三郎就任。水上分団を配置し分団長髙坂勝三就任
１９４５年	昭和２０年　７月１５日	米軍機の空襲により消防庁舎焼失し、本部を千島町に移転。常備消防団員３名、第２分団団員２名殉職
１９４７年	昭和２２年　４月３０日	勅令警防團令廃止。消防團令（勅令 185 号）が公布施行
	５月　１日	歯舞村警防団を歯舞村消防団に改編し、３分団制を施行（消防団定員 125 名）
	８月２５日	消防団設置条例施行。警防団を消防団に定員 136 名３分団制で改組。初代消防團長濱元嘉一就任。常備本部長横山重則就任
	９月　１日	和田村警防団を和田村消防団に改編し、３分団制を施行（消防団定員 150 名）団長に上野正二就任。
１９４８年	昭和２３年　３月　７日	消防組織法施行
	４月　１日	空襲により焼失した本部跡に有志の寄付金により庁舎を復旧（木造トタン葺一部２階建延 90 坪）
１９４９年	昭和２４年　８月２７日	２代目消防團長に竹原長次郎就任
１９５０年	昭和２５年　４月　１日	消防組織法に基づき常備消防本部を改組して消防本部を設置。非常勤初代消防長に２代目消防團長竹原長次郎が兼ねて就任。総務、予防、警防３係制　定員 22 名 自動車ポンプ２台 根室町消防団、団本部、第１分団、第２分団、第３分団 定員 105 名　自動車ポンプ３台
１９５１年	昭和２６年　５月　１日	花咲港に分遣所設置　消防士１名派遣
	６月　８日	非常勤２代目消防長髙本正一就任
	７月　５日	花咲港消防分遣所の車庫を花咲港 68 番地に仮設 分団常置の三輪ポンプ車を配置。夏季に消防ポンプ車を配置し、職員１名を出向
１９５２年	昭和２７年　６月　３日	3,000 ℓ水槽付大阪森田式タービンポンプ自動車を町民の寄附により購入
	１１月　７日	花咲港 100 番地に旧女学校宿舎を移設改修し、花咲港消防分遣所を移転開設。消防ポンプ車を配置し、職員１名配属（夏季は職員１名増員）
	８日	３代目消防團長嶋津豊就任
１９５４年	昭和２９年　１月　１日	消防本部に消防署併置。初代消防署長に横山重則消防本部次長就任
	５月１０日	大暴風雨根室地方を襲う船舶乗組員 191 名遭難死亡、被害総額７億円
１９５５年	昭和３０年１０月１０日	集中豪雨のため浸水 400 戸、災害救助法発動
１９５６年	昭和３１年１０月１５日	大雨による水害で 1,719 名が罹災
１９５７年	昭和３２年　８月　１日	和田村と合併し市制施行　根室町消防本部、消防署を

西　暦	年　　号	事　　項
		根室市消防本部、消防署に改称（職員定数 26 名）
		根室市消防団を定員 225 名 6 分団に編成
１９５７年	昭和３２年　９月　６日	消防ポンプ自動車（前進号）を購入
	１１月　１日	消防ポンプ自動車（指揮車）を購入
１９５８年	昭和３３年　６月　１日	厚床に分遣所設置。署員 1 名を常置し自動車ポンプを地区分団に配置
１９５９年	昭和３４年　４月　１日	歯舞村と合併し、根室市消防団を定員 350 名 9 分団に編成。上水道工事が完了し消火栓 105 基設置
	７月　１日	4 代目消防團長柿内亮就任
	１０月２８日	消防ポンプ自動車（飛躍号）を購入
１９６０年	昭和３５年　５月２４日	チリ沖地震の津波で道東、大被害（死者 11 名、行方不明 41 名、漁船沈没 296 隻）
	１０月３０日	歯舞に分遣所設置。署員 1 名を常置し消防ポンプ自動車を地区分団に配置
	１１月１９日	消防ポンプ自動車（納沙布号）を購入し、歯舞消防分遣所に配置
１９６１年	昭和３６年１２月２５日	消防ポンプ自動車（花咲号）を購入し、花咲港消防分遣所に配置
１９６２年	昭和３７年　１月２０日	荒俣正一氏より消防ポンプ自動車寄贈。荒俣号と命名し第 2 分団に配置
	２月１１日	日本消防協会より優良消防団として表彰旗授与
	７月１６日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車寄贈
	１２月１５日	消防本部庁舎新築（鉄筋コンクリート 3 階建延 613.37 ㎡　望楼高さ 22.4m）
１９６４年	昭和３９年　４月　１日	根室市危険物安全協会発足
	９月２５日	消防ポンプ自動車（はやて号）を購入
１９６５年	昭和４０年　８月　８日	消防無線（中短波無線機）新設（基地局 1 基、移動局 2 基）
１９６６年	昭和４１年　３月２５日	根室漁業協同組合鮭鱒部会より水槽付消防ポンプ自動車寄贈。鮭鱒号と命名（水槽 2,500 ℓ）
１９６７年	昭和４２年１１月２０日	厚床消防分遣所を厚床 1 丁目 38 番地に移転新築（木造モルタル 2 階建　延 148.73 ㎡）
１９６８年	昭和４３年	大正町 1 丁目 30 番地に釧路財務事務所（現消防庁舎）が建築される。
	４月２９日	第 9 分団副分団長　高橋健治郎「勲 7 等瑞宝章」受章
	９月　１日	救急業務開始（職員定数 41 名）
	６日	救急車（日産セドリックワゴン）を購入
	１１月　７日	水槽付消防ポンプ自動車（歯舞号　水槽 2,500 ℓ）を購入
	２０日	花咲港消防分遣所を花咲港 366 番地に移転新築（木造モルタル 2 階建　延 168.56 ㎡）

西　暦	年　　号	事　　項
１９６８年	昭和４３年１２月２７日	15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車（根室市信金号）を購入（500万円根室信用金庫寄附）
１９６９年	昭和４４年１０月１５日	5代目消防團長山田文吉就任
	１１月　３日	消防団長　山田文吉「勲6等旭日章」受章
１９７０年	昭和４５年　４月　１日	6代目消防団長髙本正一就任（兼務）
	１１月　１日	歯舞消防分遣所を歯舞4丁目40番地1に新築（木造モルタル2階建　延214.83㎡）
１９７１年	昭和４６年　８月１６日	落石消防団員詰所を落石260番地2に新築（落石西町内会館含　木造モルタル平屋建　延174.96㎡）
	１０月　１日	第2代消防署長に吉田理喜三消防署次長就任
	１１月２５日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車寄贈損保号と命名（水槽1,600ℓ）
１９７２年	昭和４７年１１月　３日	元消防司令　髙崎辰雄「勲6等単光旭日章」受章 消防司令補　二瓶　傳「勲6等瑞宝章」受章
１９７３年	昭和４８年　６月　１日	釧路トヨタ自動車販売㈱より救急車寄贈
	１７日	根室半島沖地震発生（震度5　マグニチュード7.4　被害総額18億円）
１９７４年	昭和４９年　１月　２日	故消防司令　辻　利一「従7位　勲6等瑞宝章」受章
	３月２０日	消防無線（超短波無線機）増設
	４月２０日	永宝冷蔵㈱より消防指揮車寄贈。永宝号と命名
	９月２０日	落石漁業協同組合より水槽付消防ポンプ自動車寄贈落石号と命名し落石消防団員詰所に配置（水槽1,500ℓ）
	１１月　３日	第9分団部長　田口定雄「勲7等旭日章」受章
１９７５年	昭和５０年　６月　１日	消防本部の組織を総務、警防の二課制に改める。（職員定数53名）
	９月　１日	3代目消防長に吉田理喜三消防本部次長就任（消防署長事務取扱）
１９７６年	昭和５１年１０月２４日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型(厚床号　水槽1,500ℓ）を購入し、厚床消防分遣所に配置
１９７７年	昭和５２年　８月３１日	新星商事㈱より救急車2B型寄贈。新星号と命名
	１１月１５日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型(歯舞号　水槽1,500ℓ）を購入し、歯舞消防分遣所に配置
１９７８年	昭和５３年１２月２５日	日本損害保険協会より救急車2B型寄贈。あさひ号と命名
１９７９年	昭和５４年　８月２４日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅱ型（根室号）を購入し、第1分団に配置
	１１月　３日	元消防署長　横山重則「勲5等双光旭日章」受章
１９８０年	昭和５５年　４月　１日	第3代消防署長に曽又啓次消防本部次長兼務就任
	９月　９日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅱ型（ときわ号）を購入し、第2分団に配置

西　暦	年　　号	事　　項
１９８０年	昭和５５年１２月　１日	第４代消防長に曽又啓次消防本部次長就任（消防署長事務取扱）
１９８１年	昭和５６年　４月　１日	第５代消防長に白土　晃消防本部次長就任（消防署長事務取扱）
	５月３１日	24 時間の望楼監視勤務廃止
	８月１２日	水槽付消防ポンプ自動車Ｉ－Ａ型（花咲号　水槽 1,500 ℓ）を購入し、花咲港消防分遣所に配置
１９８２年	昭和５７年　８月　１日	根室市幼少年婦人防火委員会発足
１９８３年	昭和５８年　４月２９日	副団長　山崎　茂「勲６等単光旭日章」受章
	５月２６日	広報車を購入
	６月２７日	厚床消防分遣所増築（木造防火サイディング 17.45 ㎡）
	８月２３日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅱ型（ほくと号）を購入
	１１月　３日	元第８分団長　大島重男「勲６等瑞宝章」受章
１９８４年	昭和５９年　４月　１日	第６代消防長に阿部和正市福祉事務所長就任 第５代消防署長に西田宏吉消防本部総務課長就任 消防団定員 335 名に改正 根室市婦人防火クラブ連絡協議会発足
	８月　４日	根室市危険物安全協会より防火査察車の寄贈
１９８５年	昭和６０年　３月２９日	カネヒロ広田商店㈱より消防指令車寄贈。カネヒロ号と命名
	１０月　４日	故消防司令　髙崎辰雄「叙位　従７位」受章
	２２日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車Ｉ－Ａ型寄贈。火災保険号と命名（水槽 1,700 ℓ）
１９８６年	昭和６１年　４月　１日	消防団長定年制施行 第７代消防団長に成田慶治就任
	７月　１日	消防署の組織を副署長２名制に改める。 （職員定数 54 名）
	１１月　３日	元第７分団長　久保田義美「勲６等瑞宝章」受章 元消防長　曽又啓次「勲６等単光旭日章」受章
１９８７年	昭和６２年　４月　１日	第７代消防長に濵本俊朗市建設部長就任 第８代消防団長に岡田政司就任 消防団副団長以下定年制施行
	９月１７日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（北翔号　水槽 2, 000 ℓ）を購入
	１０月２６日	消防庁舎増築（木造サイディング 102.06 ㎡）
１９８８年	昭和６３年　２月　１日	日本自動車工業会より救急車２Ｂ型寄贈
	９月２６日	救急車２Ｂ型（４ＷＤ　国際ソロプチミスト根室号）を購入（200 万円国際ソロプチミスト根室寄附）
	１１月　３日	元副団長　矢部博之「勲６等瑞宝章」受章
	１２月１６日	消防庁舎車庫増築（鉄骨造一部２階建 404.74 ㎡）
１９８９年	平成　元年　４月　１日	消防本部、消防署の機構改革実施

西　暦	年　　号	事　　項
１９８９年	平成　元年　４月２９日	元消防団長　成田慶治「勲５等瑞宝章」受章
	１１月１４日	20m級屈折はしご付（3節）消防ポンプ自動車を購入
	２２日	救助訓練塔建設（鉄骨造　高さ12m）
	１２月１３日	根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカーと命名
１９９０年	平成　２年　４月　１日	第８代消防長に嶋　忠雄市立根室病院事務長就任 第９代消防団長に赤川三郎就任
	２９日	元消防団長　髙本正一「勲５等双光旭日章」受章
	１１月　３日	元副団長　岡本達雄「勲６等単光旭日章」受章
１９９１年	平成　３年　１月１９日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（飛龍号　水槽7，000 ℓ）を購入
	９月　９日	広報車（4WD）を購入
	１０月３０日	全国消防長会第36回救急委員会を根室グランドホテルで開催
	１２月１８日	救助工作車Ⅱ型を購入
	２６日	消防緊急通信指令施設を設置
１９９２年	平成　４年１１月　３日	元第８分団長　奥地貫一「勲６等瑞宝章」受章
１９９３年	平成　５年　１月１５日	釧路沖地震発生（震度４　マグニチュード7.8 住宅等一部損壊等の被害）
	１１月１０日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入
１９９４年	平成　６年　４月　１日	第９代消防長に西田宏吉消防本部次長就任（職員定数62名） 第10代消防団長に田仲照夫就任 第６代消防署長に白崎紘司警防課長就任
	７月２３日	根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカー2と命名
	１０月　４日	北海道東方沖地震発生（震度５　マグニチュード8.1 被害総額178億円）
１９９５年	平成　７年　４月２９日	元消防団長　岡田政司「勲５等瑞宝章」受章
	１０月１９日	花咲港消防分遣所を花咲港366番地５に新築 (木造防火サイディング２階建　延217.62 ㎡)
１９９６年	平成　８年　３月１４日	高規格救急自動車（4WD　電子制御式４速オートマチック）購入（根室ロータリークラブ、根室西ロータリークラブより各500万円寄附）
	１５日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（花咲号　水槽6，500 ℓ）を購入し、花咲港消防分遣所に配置
	４月２９日	元消防団長　赤川三郎「勲６等単光旭日章」受章
	８月　１日	女性消防団員を導入。団本部付10名採用
	１２月２６日	根室市防災ヘリポート開港。市企画振興部から所管替え
１９９７年	平成　９年　４月　１日	第10代消防長に菅原秀敏市保健福祉部長就任（職員定数71名）

西　暦	年　　号	事　　項
１９９７年	平成　９年　４月　１日	第11代消防団長に菅野信男就任
	６月　６日	第49回北海道消防大会を根室市総合文化会館で開催
１９９８年	平成１０年　４月２９日	元副団長　大山　清「勲６等単光旭日章」受章
	５月２８日	全国消防長会第 42 回危険物委員会を根室グランドホテルで開催
	７月　１日	消防署の組織を改める（救急隊専任化 専任隊員９名）
１９９８年	平成１０年１１月２０日	救急救命士による救急業務運用開始（救急救命士２名）
	３０日	厚床消防分遣所を厚床１丁目37、38番地に新築 （木造防火サイディング２階建　延278.36㎡）
１９９９年	平成１１年　４月２９日	元副団長　矢部健三「勲６等単光旭日章」受章
	１２月２４日	消火、通報訓練指導車「けすゾウくん」市総務部から所管替え
２０００年	平成１２年　４月　１日	第11代消防長に近松正吾市立根室病院事務長就任 （職員定数71名） 消防本部、消防署の組織機構を改める。
	４月２６日	有珠山噴火に伴い北海道広域消防相互応援協定による応援隊を伊達市に派遣 （車両２台・職員５名）
	５月２７日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（厚床号　水槽 6,500ℓ）を購入し、厚床消防分遣所に配置
	１１月　３日	元副団長　飯澤種彦「勲６等単光旭日章」受章
２００１年	平成１３年　３月２６日	歯舞消防分遣所を歯舞４丁目40番地に新築 （木造防火サイディング２階建　延288.18㎡）
	４月　１日	第12代消防長に白崎紘司消防本部次長就任(職員定数72名) 第７代消防署長に柿崎直嗣消防本部総務課長就任
	４月２９日	元第８分団長　藤島昭一「勲６等瑞宝章」受章
２００２年	平成１４年　２月２１日	財団法人　日本消防協会より司令車（4WD）寄贈
２００３年	平成１５年　４月２９日	元副団長　中村　茂「勲６等単光旭日章」受章
２００４年	平成１６年　４月　１日	第13代消防長に柿崎直嗣消防本部次長就任(職員定数72名) 第12代消防団長に髙橋貞男就任 第８代消防署長に武田靜夫副署長就任
	４月２９日	元消防団長　菅野信男「瑞宝双光章」受章
	６月２４日	根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカーと命名
２００５年	平成１７年　４月　１日	第14代消防長に竹原賢一郎市教育委員会教育部長就任（職員定数72名）
	１１月　９日	元副団長　宮下　繁「瑞宝単光章」受章
２００６年	平成１８年　４月　１日	第15代消防長に武田靜夫消防本部次長就任(職員定数72名)
	４月　１日	第９代消防署長に加藤義則消防本部警防課長就任
	１２月２７日	日本損害保険協会より高規格救急自動車（4WD）寄贈（備品購入費の一部、消防設備整備基金より）

西　暦	年　　号	事　　項
２００７年	平成１９年　４月　１日	職員定数条例改正（職員定数 70 名）
	８月　１日	元第８副分団長　長山誠一「瑞宝単光章」受章
	１０月　３日	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車（4WD）寄贈（備品購入費の一部、消防設備整備基金より）
	１１月　３日	元副団長　倉又　博「瑞宝単光章」受章
	１２月２７日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（歯舞号　4WD　水槽 3,000 ℓクラスＡ自動泡混合装置付）を購入し、歯舞消防分遣所に配置（備品購入費の一部、消防設備整備基金より）
２００８年	平成２０年　４月　１日	第 16 代消防長に加藤義則消防本部次長就任（職員定数 70 名） 第 10 代消防署長に織田勝洋消防本部総務課長就任
	５月　１日	予防技術資格者に認定証を交付
	９月１８日	落石消防団員詰所を落石東 391 番地１に移転新築（木造防火サイディング平屋建　延 77.84 ㎡）
	９月２４日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（落石号 4WD 水槽 600 ℓハイルーフＣＡＦＳ仕様）を購入し、落石消防団員詰所に配置
２００９年	平成２１年　４月　１日	消防本部、消防署にスタッフ制（グループ制）の導入 署の組織を副署長１名、２課制に改める。 救急専任隊員 10 名とする。
	４月２９日	元副団長　中村美喜男「瑞宝単光章」受章
	５月２２日	高性能型油圧救助器具を購入
	９月２９日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型　２台（根室Ｃ－１、根室Ｃ－２　４WD水槽 600ℓハイルーフＣＡＦＳ仕様）を購入
	１０月　５日	道東ドクターヘリ運航開始（事業実施主体・基地病院市立釧路総合病院）
２０１０年	平成２２年　８月２０日	根室市消防団、北海道消防協会長より竿頭綬を受章
	１０月１８日	広報車（４WD）を購入
２０１１年	平成２３年　３月１１日	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生。マグニチュード９．０の巨大地震により、根室市に大津波警報が発令される。
	３月２４日	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊を宮城県石巻市に派遣（２隊７名）
	１０月１０日	新消防庁舎運用開始 大正町１丁目 30 番地の旧市役所第２庁舎を改築し、鉄骨造２階建車庫（823.26 ㎡）を増設 （延べ 1,518.61 ㎡） 消防緊急通信指令設備、地図検索システムを導入及び仮眠室の個室化を図る。

西　暦	年　　号	事　　項
２０１１年	平成２３年１２月２６日	根室ロータリークラブ、根室西ロータリークラブより消防広報車寄贈。広報車２と命名
２０１２年	平成２４年　４月　１日	第17代消防長に織田勝洋消防本部次長就任（職員定数70名）
		第13代消防団長に坂江國雄就任
		第11代消防署長に宗像　淳消防本部総務課長就任
	８月　１日	元第7分団長　鈴木政雄「瑞宝単光章」受章
	９月　７日	北海道消防協会より優良消防団として表彰旗授与
	１１月　３日	元副団長　三戸光雄「瑞宝単光章」受章
	１２月　１日	元第３副分団長　重平　護「瑞宝単光章」受章
２０１３年	平成２５年　４月　１日	消防救急デジタル無線運用開始
	４月２９日	元消防団長　髙橋貞男「瑞宝双光章」受章
	６月　１日	消防団活動安全化事業として、各分団に救命胴衣及び携帯型デジタル簡易無線機を配備
	１０月　１日	元副団長　山下宏信「瑞宝双光章」受章
		元第１分団長　大橋一男「瑞宝単光章」受章
	１０月　７日	25m級屈折はしご付（1節3段伸縮）消防ポンプ自動車を購入
２０１４年	平成２６年　４月　１日	第18代消防長に宗像　淳消防本部次長就任（職員定数70名）
		第12代消防署長に鈴木敏一消防本部総務課長就任
	６月２４日	根室市危険物安全協会より防火防災指導車寄贈。防火号と命名
	１１月　３日	元副団長　酒井忠男「瑞宝単光章」受章
	１２月２６日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽１４ＷＤステンレス製水槽2,000ℓ　ＣＡＦＳ仕様）を購入
２０１５年	平成２７年　４月２９日	元第８分団長　影沼澤　潔「瑞宝単光章」受章
	７月　１日	消防署の組織活性化及び体制強化　主幹職（3名）配置救急専任隊員12名とする。
	１１月１７日	北海道知事より優良消防団として竿頭綬受章
２０１６年	平成２８年　１月２９日	高規格救急自動車（４WD）を購入
	１１月　２日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽３　４WDステンレス製水槽2,000ℓ　ＣＡＦＳ仕様）を購入
２０１８年	平成３０年　４月　１日	第19代消防長に大島裕司市建設水道部長就任（職員定数70名）
		第14代消防団長に櫻田一二三就任
	９月２５日	広報車２（４WD）を購入
	１１月　３日	元消防団長　坂江國雄「瑞宝単光章」受章
	１１月２９日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽４４ＷＤステンレス製水槽6,000ℓ　ＣＡＦＳ仕様）を購入

西　暦	年　　号	事　　項
２０１９年	平成３１年　３月２２日	消防庁舎女性棟増築 （鉄筋コンクリート造平屋建 67.41 ㎡　延べ 1,586.02 ㎡）
	４月　１日	第 20 代消防長に鈴木敏一消防本部次長就任（職員定数 70 名） 第 13 代消防署長に吾妻秀一消防署消防課長就任
	令和　元年　７月　１日	予防技術認定資格者に予防技術資格者証を交付
	９月２５日	消防団設備整備事業として、各分団に消防団救助用資機材（油圧切断機、エンジンカッター、チェーンソー、ジャッキ）を配備
	９月２６日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽２　４WD ステンレス製水槽 6,500ℓ）を購入
	１１月　３日	元副団長　金濱　憲「瑞宝単光章」受章
	１２月２０日	救助隊員に救助隊員章の貸与
２０２０年	令和　２年　１月　１日	災害現場情報共有システム運用開始
	４月　１日	職員定数条例改正（職員定数 71 名） 指揮隊本格運用開始
	７月１５日	もりかど式消火戦術運用開始
	１１月　３日	元第４分団長　倉谷　武「瑞宝単光章」受章

位置・面積

位置		広ぼう		面積
東経	北緯	東西	南北	
東に146度26分25秒 西に145度11分44秒	南に43度9分31秒 北に43度39分5秒	100.83km	54.75km	506.25k㎡

注　面積は、歯舞群島の面積(94.84k㎡)を含む。

人口･世帯

区分 調査年月日	人口	世帯数
令和2年12月31日	男　11,830　人 女　13,028　人	12,469　世帯
	合計　24,858　人	

消防予算及び決算

年度別 項目		令和元年度	令和2年度
一般会計（千円）		17,637,000 (28,422,391)	19,135,000
消防費（千円）		753,725 (754,707)	761,030
内訳（千円）	常備消防費	52,387 (52,623)	49,748
	非常備消防費	45,152 (66,982)	34,496
	消防施設費	90,177 (85,157)	109,733
	関係職員費	566,009 (549,945)	567,053
一般会計に対する消防費の割合(%)		4.3 (2.7)	4.0
市民1人当たりの消防費（円）		29,608 (29,646)	30,615
一世帯当たりの消防費（円）		59,986 (60,064)	61,034

注（　)決算

消防力の現勢

1 消防本部・署

( )前年数

区分		算定数	整備数	比率(%)
施設	署所	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	消防ポンプ自動車	3	3 (3)	100.0 (100.0)
	屈折はしご自動車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	化学消防車	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	救急自動車	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	救助工作車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	指揮車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	特殊車等	—	3 (3)	—
	非常用消防自動車	—	—	—
	非常用救急自動車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
人員		102	71 (69)	69.6 (67.6)

2 消防団

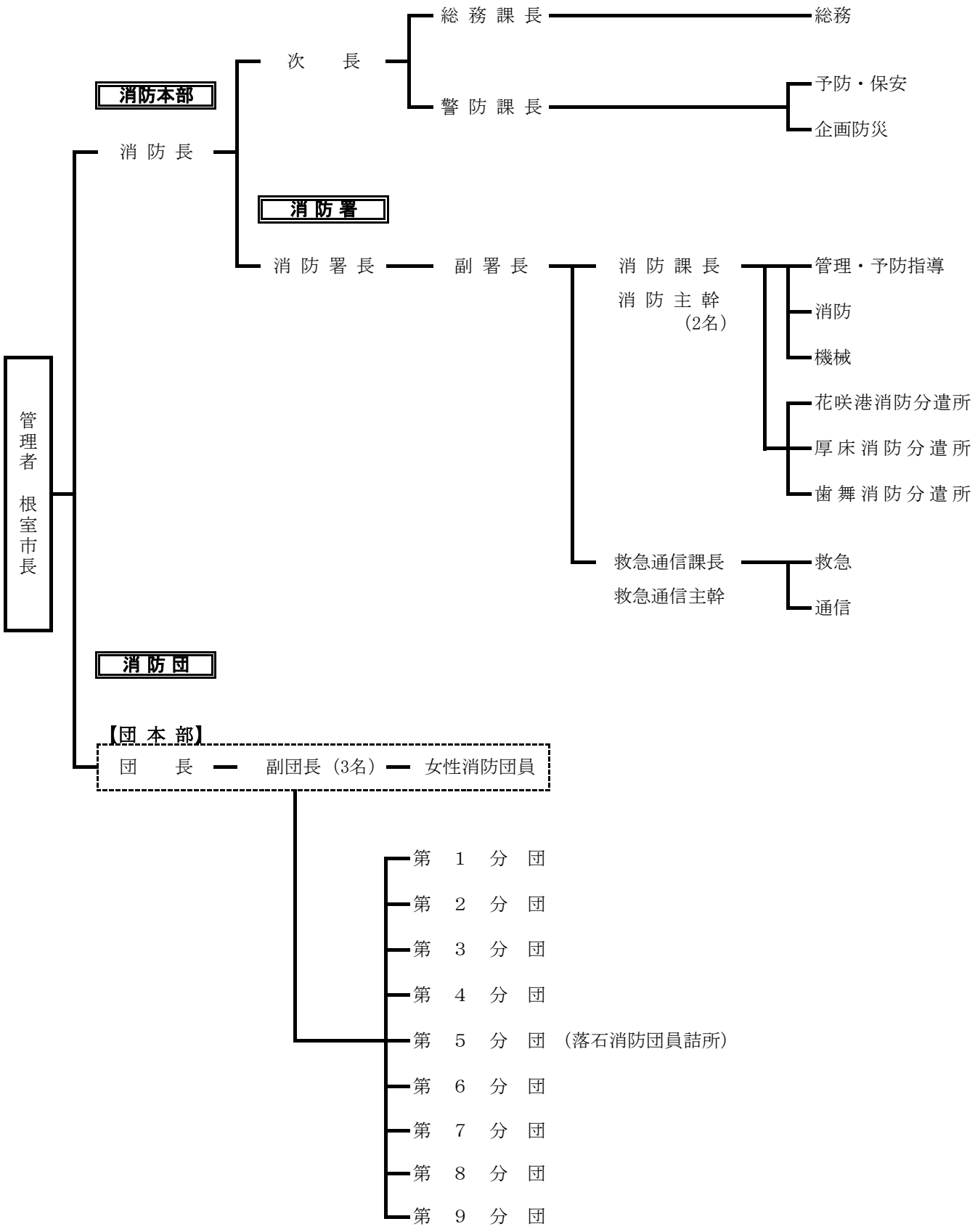
( )前年数

区分		算定数	整備数	比率(%)
施設	消防ポンプ自動車	6	6 (6)	100.0 (100.0)
	小型動力ポンプ	16	16 (15)	100.0 (93.8)
人員	消防団員	335	326 (329)	97.3 (98.2)

消防相互応援協定等の状況

協定の概要	締結先	締結年月日
船舶消火に関する業務協定	根室海上保安部	昭和44年2月1日
北海道広域消防相互応援協定	北海道内の市、町及び消防の一部事務組合	令和2年3月23日
北海道消防防災ヘリコプター応援協定	北海道知事	平成8年6月25日

組織機構図


管理者
根室市長
消防本部
消防長
次長
総務課長
総務
警防課長
予防・保安
企画防災
消防署
消防署長
副署長
消防課長
管理・予防指導
消防主幹
(2名)
消防
機械
花咲港消防分遣所
厚床消防分遣所
歯舞消防分遣所
救急通信課長
救急
救急通信主幹
通信
消防団
【団本部】
団長
副団長（3名）
女性消防団員
第1分団
第2分団
第3分団
第4分団
第5分団
（落石消防団員詰所）
第6分団
第7分団
第8分団
第9分団

消防職員数

区分＼階級別	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	合　計
定　　数	1	9	16	23	22		71
実　　員	1	9	16	23	5	17	71

消防職員配置状況

配置別＼階級別			司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	合　計
消防本部	消　防　長		1						1
	次　　長			1					1
	総務課	課　　長		1					1
		総務主査			2				2
		総務担当				3			3
	警防課	課　　長		1					1
		予防主査			3				3
		企画防災主査			1				1
		予防・保安担当				5			5
		企画防災担当				1	1		2
	小　　計		1	3	6	9	1		20
消防署	署　　長			(1)					(1)
	副　署　長			1					1
	消防課	課　　長		1					1
		消防主幹		2					2
		管理主査			2				2
		消防主査			2				2
		機械主査			2				2
		管理・予防指導 消防・機械担当				8	4	13	25
	救急通信課	課　　長		1					1
		救急通信主幹		1					1
		救急主査			3				3
		通信主査			1				1
		救急担当				5		3	8
		通信担当				1		1	2
	小　　計			(1)　6	10	14	4	17	(1)　51
合　　計			1	(1)　9	16	23	5	17	(1)　71

注 (　)兼務

消防職員勤続年数

（平均19.5年）

階級別 / 年数	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
1年未満						2	2
1～5						9	9
6～10				4	2	6	12
11～15				6			6
16～20				6			6
21～25		1	5	5			11
26～30		2	7	2			11
31年以上	1	6	4		3		14
合計	1	9	16	23	5	17	71

消防職員年齢

（平均39.7歳）

階級別 / 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
18～20						1	1
21～25						12	12
26～30				1	2	4	7
31～35				8			8
36～40				6			6
41～45			5	5			10
46～50		3	5	2			10
51～55		4	5	1	1		11
56歳以上	1	2	1		2		6
合計	1	9	16	23	5	17	71

消防団員数

階級別 / 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定員	1	3	9	9	11	38	264	335
実員	1	3	9	9	11	38	255	326

消防団員配置状況

区分＼階級別		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	3			1	2	5	12
市街地	第1分団			1	1	1	4	21	28
	第2分団			1	1	1	4	19	26
	第3分団			1	1	1	4	23	30
和田地区	第4分団			1	1	1	4	27	34
	第5分団			1	1	1	4	28	35
	第6分団			1	1	2	4	36	44
歯舞地区	第7分団			1	1	1	4	32	39
	第8分団			1	1	1	4	32	39
	第9分団			1	1	1	4	32	39
合計		1	3	9	9	11	38	255	326

消防団員勤続年数

(平均15.2年)

年数＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1年未満							8	8
1～5							77	77
6～10						1	54	55
11～15						11	34	45
16～20				1	3	4	29	37
21～25			1	2	5	5	24	37
26～30			2			7	11	20
31年以上	1	3	6	6	3	10	18	47
合計	1	3	9	9	11	38	255	326

消防団員年齢

（平均44.9歳）

階級別 / 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18～20							1	1
21～25							8	8
26～30							26	26
31～35						1	33	34
36～40					1	2	49	52
41～45					1	3	40	44
46～50			1	1	3	6	37	48
51～55			1	1	1	13	34	50
56～60		1	1	3	2	10	26	43
61歳以上	1	2	6	4	3	3	1	20
合計	1	3	9	9	11	38	255	326

庁舎概要

名称	所在地	構造	建面積（㎡） 延面積（㎡）	建築年月日
消防本部・消防署	大正町1-30	管理棟 (鉄筋コンクリート2階建) 女性棟 (鉄筋コンクリート平屋建) 車庫棟 (鉄骨造一部2階建) 延面積	695.35 67.41 823.26 1,586.02	平成23年9月30日 平成31年3月22日 平成23年9月30日
花咲港消防分遣所	花咲港366-5	木造防火サイディング ２階建	143.91 217.62	平成7年10月17日
厚床消防分遣所	厚床1-37、38	木造防火サイディング ２階建	208.38 278.36	平成10年11月30日
歯舞消防分遣所	歯舞4-40	木造防火サイディング ２階建	217.38 288.18	平成13年3月26日
落石消防団員詰所	落石東391-1	木造防火サイディング 平屋建	77.84 77.84	平成20年9月18日

根室市防災ヘリポート

位置	飛行場の種類	滑走路の強度　（t）	面積（㎡）
東和田49-4	陸上ヘリポート (飛行場外離着陸場)	最大離着陸重量　9	２，２４０

消防職員免許等資格取得状況

区分＼階級別		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
自動車運転免許	大型免許（第一種）	1	5	12	20	5	3	46
	普通免許		4	4	3		14	25
二級自動車整備士					1			1
自動車整備管理者			3	5	3			11
衛生管理者	第一種	1	1	1	2			5
	第二種		1	1				2
小型移動式クレーン運転技能講習		1	3	10	13	3		30
玉掛技能講習			7	8	13	2		30
小型車両系建設機械特別教育（整地・運搬・積込み及び掘削）			4	11	22	5	7	49
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		1	3	3	5			12
陸上特殊無線技士	第二級		2					2
	第三級	1	5	9	11	2	5	33
予防技術資格者	査察	1	4	3	4			12
	設備	1	3	2	1			7
	危険物	1	3	2	1			7
消防設備士	甲種				2			2
	乙種		2	1	1		1	5
危険物取扱者	乙種	1	5	5	6			17
	丙種		1	1		1		3
救急救命士			1	5	5		4	15
救急	標準課程		2	6	18	2	6	34
	Ⅰ課程	1	3	3		1		8
	Ⅱ課程		3	2		2		7

消防機械置場

番号	名称及び所在地	所属分団	構造及び面積	建築年月日
1	長節地区消防資機材庫 長節146番地11	第4分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和63年6月24日
2	幌茂尻地区消防機械置場 幌茂尻42番地5	第4分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和59年7月6日
3	温根沼地区消防機械置場 温根沼48番地	第4分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和61年8月14日
4	浜松地区消防機械置場 浜松9番地15	第5分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和62年6月16日
5	昆布盛地区消防機械置場 昆布盛25番地	第5分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和54年8月29日
6	別当賀地区消防機械置場 別当賀18番地7	第6分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和55年10月9日
7	双沖地区消防機械置場 双沖1丁目127番地	第7分団	木造平屋建 12.39㎡	昭和49年6月20日
8	友知地区消防機械置場 友知122番地	第7分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和61年8月14日
9	納沙布地区消防資機材庫 納沙布33番地9	第9分団	木造平屋建 12.15㎡	平成元年8月8日
10	琶瑤瑁地区消防機械置場 琶瑤瑁1丁目91番地	第9分団	木造平屋建 12.42㎡	昭和48年8月2日
11	温根元地区消防機械置場 温根元107番地	第9分団	木造平屋建 12.15㎡	昭和53年7月20日

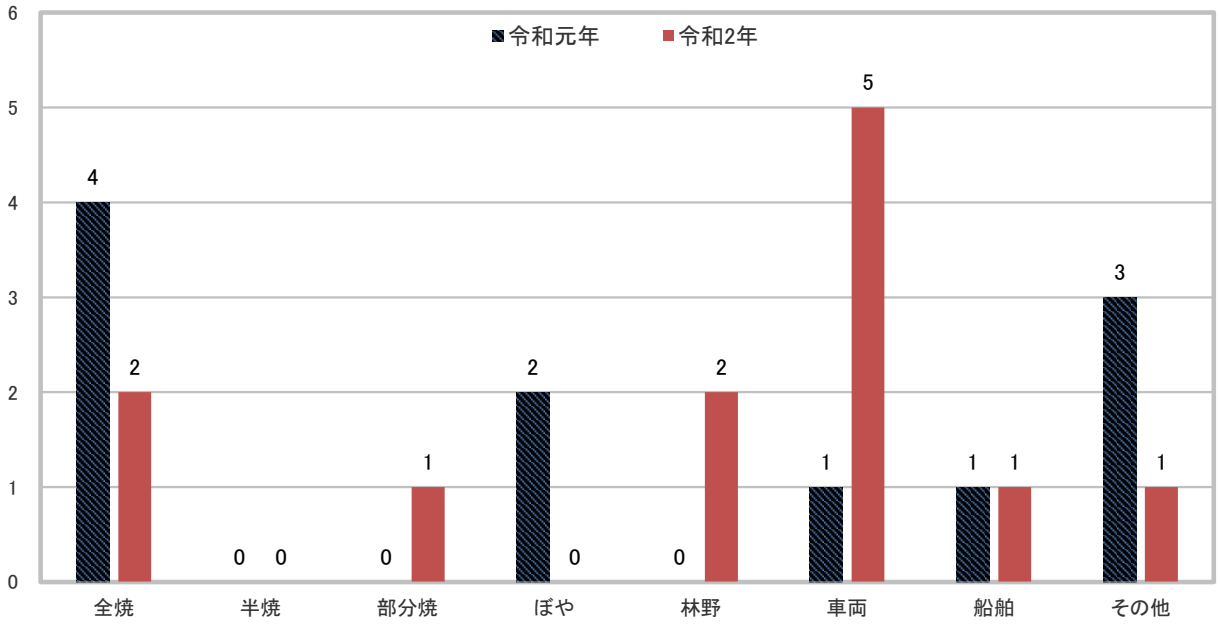
火　災　関　係

航空自衛隊連携消防訓練

火災等発生状況

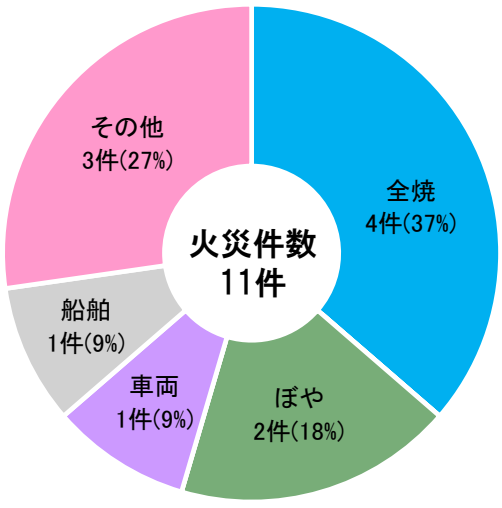
区分			令和２年（ａ）	令和元年（ｂ）	増減数（ｃ）(a)－(b)
出火件数	合計		12	11	1
	建物		3	6	△ 3
		全焼	2	4	△ 2
		半焼			
		部分焼	1		1
		ぼや		2	△ 2
	林野		2		2
	車両		5	1	4
	船舶		1	1	
	その他		1	3	△ 2
焼損面積	建物(㎡)	床面積	355	225	130
		表面積		3	△ 3
	林野（ａ）		67		67
死傷者	死者				
	負傷者				
り災世帯数	全損		1		1
	半損				
	小損			5	△ 5
	人員		2	9	△ 7
損害額（千円）	合計		29,232	235,843	△ 206,611
	建物		20,262	3,118	17,144
	林野				
	車両		2,118	180	1,938
	船舶		6,852	6,820	32
	その他			225,725	△ 225,725
	１件当たり	全火災	2,436	21,440	△ 19,004
		建物	6,754	520	6,234
火事騒ぎ			7	4	3

火災種別発生件数

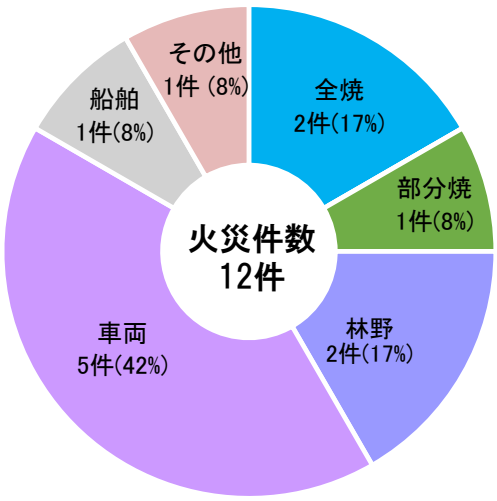


火災種別割合

令和元年



令和２年



月別火災等発生状況

区分 / 月別	火災件数									り災世帯				焼損面積			損害額	死者	負傷者	火事騒ぎ
	合計	建物				林野	車両	船舶	その他	全損	半損	小損	人員	建物（㎡）		林野（a）	（千円）			
		全焼	半焼	部分焼	ぼや									床面積	表面積					
1	1						1										120			
2																				1
3	1			1										4			25			
4	1					1										22				
5	1	1								1			2	244			8,166			
6	2					1	1									45	5			
7	1						1										1,995			
8	1						1													
9																				2
10	2							1	1								6,852			2
11	1						1										3			1
12	1	1												107			12,066			1
合計	12	2		1		2	5	1	1	1			2	355		67	29,232			7

原因別火災等発生状況

区分／原因	火災件数									焼損面積			損害額（千円）				死傷者		火事騒ぎ
	合計	建物				林野	車両	船舶	その他	建物(㎡)		林野（a）	合計	建物	内容物	その他	死者	負傷者	
		全焼	半焼	部分焼	ぼや					床面積	表面積								
たばこ																			
こんろ	1			1						4			25	21	4				3
かまど																			
風呂かまど																			
炉																			
焼却炉																			
ストーブ																			
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道																			1
排気管																			
電気機器																			
電気装置																			
電灯電話等の配線	2	1				1				244		45	8,171	6,840	1,331				2
内燃機関																			
配線器具																			
火あそび																			
マッチライター																			
たき火																			
溶接機溶断機																			
灯火																			
衝突の火花																			
取灰																			
火入れ																			
放火																			
放火の疑い																			1
その他	5	1				1	3			107		22	14,061	8,575	3,491	1,995			
不明	4						2	1	1				6,975			6,975			
合計	12	2		1		2	5	1	1	355		67	29,232	15,436	4,826	8,970			7

時間・曜日・覚知別火災発生状況

区分＼火災種別			合計	建物				林野	車両	船舶	その他
				全焼	半焼	部分焼	ぼや				
合計			12	2		1		2	5	1	1
時間別	0～1										
	1～2										
	2～3										
	3～4										
	4～5										
	5～6										
	6～7										
	7～8										
	8～9		1						1		
	9～10		1					1			
	10～11		1								1
	11～12										
	12～13		1	1							
	13～14		2					1	1		
	14～15		2						2		
	15～16										
	16～17										
	17～18		1			1					
	18～19		1							1	
	19～20		1						1		
	20～21										
	21～22										
	22～23										
	23～24		1	1							
曜日別	日曜日		1	1							
	月曜日										
	火曜日		1							1	
	水曜日		2	1					1		
	木曜日		3					2	1		
	金曜日		1						1		
	土曜日		4			1			2		1
覚知別	火災専用	固定電話	1						1		
		携帯電話	10	2				2	4	1	1
	加入	固定電話									
		携帯電話									
	駆け付け										
	事後聞知		1			1					
	その他										

予　防　関　係

アーティスト Satoly さんと幼年消防クラブによる防火看板制作

予防事務処理状況

区分 / 申請及び届出の別		件数	処理区分及び件数			
			検査	交付 検査済証	交付 届出済証	交付 証明書等
消防用設備等	消防用設備等着工届出	8				
	消防用設備等設置届出	15	15	15		
	消防用設備等点検報告	517				
	防火対象物点検結果報告	4				
条例関係	裸火使用・危険物品持込届出	4			4	
	防火対象物使用開始届出	18	18		18	
	炉・ボイラー・乾燥設備等設置届出	9			9	
	発電・変電・蓄電池設備設置届出	29			29	
	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為届出	12			12	
	煙火打上げ・仕掛け届出	10			10	
	催物開催届出					
	露店等の開設届出	1			1	
	水道断・減水届出					
	道路工事届出	29			29	
	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出	47			47	
	少量危険物等タンク検査申請					
その他	防火管理者選(解)任届出	28			28	
	消防計画作成(変更)届出	59			59	
	液化石油ガス等貯蔵取扱届出	6			6	
	消防法令適合通知書交付申請	8	8			8
	り災・その他の証明	7				7
合計		811	41	15	252	15

危険物関係事務処理状況

区分 / 製造所等の別		施設総数	立入検査件数(延)	許可		完成検査		完成前検査	認可		承認		届出受理						
				設置	変更	設置	変更	水張	予防規程制定	予防規程変更	仮使用	仮貯蔵・仮取扱	種類・数量変更	譲渡・引渡	廃止	危険物保安監督者選解任	名称変更等	軽微な工事	使用休止・再開
製造所																			
貯蔵所	屋内	3	2							1		5							
	屋外タンク	24	12							1					1			4	
	屋内タンク	5	2																
	地下タンク	57	20	1	1	2	1			1						1	1		
	簡易タンク																		
	移動タンク	47	40	2	2	2	1					1		2	3				
	屋外																		
取扱所	給油	29	12		5		5			9	3		2		1	2	4	19	1
	第1種販売																		
	第2種販売																		
	移送	3																	
	一般	26	16		2		2			2	2				1	2	1	2	
合計		194	104	3	10	4	9			14	5	6	2	2	6	5	6	25	1

防火団体結成状況

1 女性防火クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
西厚床女性防火クラブ	13	昭和57年3月7日	
昆布盛女性防火クラブ	37	昭和60年4月1日	
歯舞漁協女性部防火クラブ	347	昭和60年5月15日	10支部
友知支部	(45)		
双沖支部	(33)		
新光支部	(40)		
歯舞中央支部	(24)		
歯舞郷星支部	(47)		
珸瑤瑁第一支部	(44)		
珸瑤瑁第二支部	(45)		
納沙布支部	(20)		
温根元第一支部	(23)		
温根元第二・豊里支部	(26)		
花咲港女性防火クラブ	24	昭和61年5月10日	
落石西女性防火クラブ	54	昭和61年7月9日	
落石東女性防火クラブ	33	昭和61年7月9日	
浜松女性防火クラブ	21	昭和61年7月9日	
幌茂尻女性防火クラブ	25	昭和61年12月6日	
長節女性防火クラブ	24	昭和62年2月3日	
東梅女性防火クラブ	42	昭和62年3月6日	
温根沼町会女性防火クラブ	27	平成3年2月17日	
合計	647		11クラブ

( )の数は支部人数

2 少年消防クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
花咲港少年消防クラブ	8	昭和62年7月19日	
歯舞少年消防クラブ	23	平成9年4月20日	
双友少年消防クラブ	18	平成14年10月29日	
合計	49		3クラブ

3 幼年消防クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
睦の園幼稚園幼年消防クラブ	77	平成元年6月1日	
合計	77		1クラブ

4 危険物安全協会

団体名	会員数	結成年月日	備考
根室市危険物安全協会	27	昭和39年4月1日	
合計	27		1団体

防火対象物及び中高層建築物状況

区分 / 政令項目別			防火対象物数				立入検査数(延)	防火管理者			中高層建築物			
			特例認定	第1種	第2種	第3種		必要数	選任数	選任率(%)	4階	5階	6階以上	合計
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場		1			1	1	0	0				
	ロ	公会堂・集会場	9	4			3	13	13	100				
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等												
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	2			2	4	4	100				
	ハ	性風俗関連特殊営業												
	ニ	カラオケボックス等の個室店舗		1			1	1	0	0				
3	イ	待合・料理店												
	ロ	飲食店	1	28		17	32	36	35	97				
4		百貨店・マーケット等	5	20		18	13	31	31	100	1			1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	12		16	10	13	13	100		2	1	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅			15	53		15	15	100	5	18		23
6	イ	病院・診療所・助産所		2		8	2	2	2	100	2			2
	ロ	老人ホーム等(主に入所)		11		1	10	11	11	100				
	ハ	老人福祉センター等(主に通所)		11		11	13	12	12	100				
	ニ	幼稚園・特別支援学校		2			2	2	2	100				
7		小学校・中学校・高等学校等			9	5	14	9	9	100	1			1
8		図書館・博物館・美術館			5			5	5	100				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等												
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場			1	2		3	3	100				
10		車両の停車場等												
11		神社・寺院・教会等			5	20		23	23	100				
12	イ	工場・作業所			8	142		12	12	100				
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場				1								
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫				40		1	1	100				
15		前各項に該当しない事業場			28	72		37	37	100	4	4		8
16	イ	複合用途特定防火対象物	3	21		30	28	35	29	82				
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			6	17	3	6	6	100			1	1
17		重要文化財等の建造物				1								
合計			21	115	77	454	134	272	263	96	13	24	2	39
			667											

警　防　関　係

根室市総合防災訓練（車両事故救出救助訓練）

消防訓練等指導状況

区分＼訓練内容		消火訓練等	講習会等	防火映画会	合計
女性防火クラブ・幼年少年消防クラブ	回数	2			2
	参加人数	19			19
町内会・自主防災組織等	回数	2			2
	参加人数	45			45
事業所等	回数	27			27
	参加人数	935			935
学校・幼稚園等	回数	9			9
	参加人数	604			604
合計	回数	40			40
	参加人数	1,603			1,603

予防広報等実施状況

行事別＼区分	防火チラシ等配布（枚）	広報物品（個）	文書による啓発（通）	公用車等による啓発（回）	報道機関等による啓発（件）	街頭啓発活動等（件）	SNSによる広報（回）
春の根室市火災予防運動（4月20日～4月30日）	1,696		74	28	18		4
秋の根室市火災予防運動（10月15日～10月31日）	692	200	110	32	19	4	4
根室市焼死者事故防止強調週間（2月1日～2月7日）		228	30	6	12	3	2
根室市危険物安全週間（6月4日～6月10日）			70		1		2
上記以外の火災予防広報		400	14		1	2	67
合計	2,388	828	298	66	51	9	79

建築物同意事務処理状況

区分 / 政令項目別			合計	月別受付件数												工事種別(左表内訳)				
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	新築	増築	改築	変用更途	変計更画
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場																		
	ロ	公会堂・集会場																		
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																		
	ロ	遊技場・ダンスホール																		
	ハ	性風俗関連特殊営業																		
	ニ	カラオケボックス等の個室店舗																		
3	イ	待合・料理店																		
	ロ	飲食店	2										1		1	1				1
4		百貨店・マーケット等	1								1					1				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所																		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	9			1	3				3		1	1		5	1			3
6	イ	病院・診療所・助産所																		
	ロ	老人ホーム等(主に入所)																		
	ハ	老人福祉センター等(主に通所)																		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1			1														1
7		小学校・中学校・高等学校等																		
8		図書館・博物館・美術館																		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																		
10		車両の停車場等																		
11		神社・寺院・教会等																		
12	イ	工場・作業所	1			1										1				
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																		
13	イ	自動車車庫・駐車場	2				1					1				2				
	ロ	飛行機等の格納庫																		
14		倉庫																		
15		前各項に該当しない事業場	8		1	1	1		1			1	1	2		4				4
16	イ	複合用途特定防火対象物																		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1	1												1				
17		重要文化財等の建造物																		
小計			25	1	1	4	5		1		4	2	3	3	1	15	1			9
住宅		同意	5						2		1		2			3	1			1
		通知	33	1	1	5	6	1	1	5	2	2	4	5		28	1			4
その他(危険物施設等)																				
工作物・その他			1										1			1				
小計			39	1	1	5	6	1	3	5	3	2	7	5		32	2			5
合計			64	2	2	9	11	1	4	5	7	4	10	8	1	47	3			14

有線通信施設配置状況

区分		種別		回線数	備考
有線電話	指令台	119番回線	アナログ	8	
			携帯 (ISDN)	1	同時2、ダイヤルイン含み4
			IP (ISDN)	6	同時12
		携帯電話転送用回線 (ISDN)		2	同時4
		加入電話回線		3	
	一般	順次指令回線		2	
		災害情報自動案内回線		4	
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話		1	
		高齢者等緊急通報システム出動要請受信電話		1	
		FM緊急放送システム		1	
		NET119緊急通報システム		1	
		消防・災害相談ダイヤル(ISDN)		1	同時2
		加入電話		7	本部3・分遣所等4
		FAX		5	本部1・分遣所等4

無線通信施設配置状況

区分	種別・チャンネル			施設数	備考
無線設備	基地局		活動波 2 (消防波・救急波) 統制波 3 (全国共通波) 主運用波 7 (都道府県共通波)	3	本部1、分遣所等2
	移動局	車載型		21	本部17、分遣所等4
		携帯型		25	本部20、分遣所等5
		可搬型		1	分遣所1
		卓上型		2	本部1、分遣所1

衛星携帯電話配置状況

種別	台数	備考
衛星携帯電話	5	本部1、分遣所等4

防災行政用無線

種別	施設数	備考
市町村防災行政用無線(通信所)	1	10W 送受信所:根室市役所

救助出動件数及び活動件数

(　)前年数

区分＼事故種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数			9 (4)	1 (1)		(1)				3 (2)	13 (8)
活動件数			3 (3)	(1)						1 (1)	4 (5)

救助事故種別出動人員及び活動人員

区分＼事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動人員	救助隊員			40	4						13	57
	消防隊員			11							6	17
	救急隊員			43	3						11	57
合計				94	7						30	131
活動人員	救助隊員			9							5	14
	消防隊員			3							3	6
	救急隊員			11							3	14
合計				23							11	34

救助器具保有状況

区 分	品　　名	数 量	区 分	品　　名	数 量
一般救助用	かぎ付はしご	1	破　壊　用	万能斧	2
	三連はしご	1		ハンマー	1
	ワイヤはしご	1		携帯用コンクリート破壊器具	1
	空気式救助マット	1	呼吸保護用	空気呼吸器	5
	救命索発射銃	1		送排風機	1
	サバイバースリング	1	隊員保護用	耐電手袋	5
	救助用縛帯	7		耐電衣	2
	平担架	1		耐電ズボン	2
	ロープ	38		耐電長靴	2
	カラビナ	42		安全帯	5
	滑車	6		防じんマスク	5
重量物排除用	油圧ジャッキ	1		化学防護服	10
	大型油圧スプレッダー	1		感染防止衣	20
	可搬ウィンチ	1		携帯警報器	3
	マット型空気ジャッキ	1		全面マスク(防毒マスク)	5
	マンホール救助器具	1		切創防止用保護衣	1
切　断　用	大型油圧切断機	1	水難救助用	救命胴衣	5
	エンジンカッター	1		水中投光器	5
	ガス溶断器	1		救命浮環	1
	チェーンソー	1		救命ボート	1
	鉄線カッター	1	山岳救助用	担架	2
	空気鋸	1	その他の救助用	投光器	1
	バッテリーソー	1		携帯拡声器	1
検知・測定用	可燃ガス・有毒ガス・酸素濃度測定器	1		携帯無線機	1
	放射線測定器	10		応急処置用セット	1

消防車両現勢

区分 / 所属		車両名	車名型式	登録年月	エンジン出力（Ps）	ポンプ級別	水槽容量（ℓ）	車両総重量（kg）	最大放水量（㎥／分）	経過年月
消防本部		根室水槽１	日野 SDG-GX7JGAA 改	H26.12	220	A-2	2,000	11,540	3.80	6.0
		根室水槽２	日野 2PG-FQ1AJG 改	R 1. 8	380	A-2	6,500	20,470	2.00	1.4
		根室水槽３	日野 SDG-GX7JGAA 改	H28.10	220	A-2	2,000	11,670	3.80	4.2
		根室水槽４	日野 ２PG-FQ１AJG改	H30.10	380	A-2	6,000	20,410	3.80	2.2
		はしご車	日野 QKG-FH1ALAA 改	H25.10	320	A-2		16,450	2.50	7.2
		化学車	日野 U-FT3HGAL 改	H 5.11	185	A-2	水1,300 薬 500	9,705	2.29	27.1
		救助工作車	日野 U-FF3HGAA 改	H 3.12	195			12,180		29.0
消防署		救急 1	トヨタ CBF-TRH226S	H19. 9	151			3,245		13.2
		救急 2	トヨタ CBF-TRH226S	H18.12	151			3,245		14.0
		救急 3	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 1	151			3,280		4.11
		広報車	三菱 ＤＢＡ－ Ｖ９３Ｗ	H22.10	178			2,505		10.2
		広報車２	トヨタ DBE－NCP165V	H30. 9	103			1,670		2.3
		防火号	スバル ＥＢＤ－Ｓ３３１Ｂ	H26. 6	53			1,410		6.6
		防火パトカー	トヨタ CBA-NCP59G	H16. 6	105			1,415		16.6
		司令車	トヨタ GH-RZN185W	H14. 2	170			2,045		18.10
消防団	第１分団	根室Ｃ－１	日野 BDG-XZU378M	H21. 9	150	A-2	600	6,730	2.80	11.3
	第２分団	根室Ｃ－２	日野 BDG-XZU378M	H21. 9	150	A-2	600	6,730	2.80	11.3
	第３分団	花咲号	日野 KC-FS4FMCA	H 8. 3	390	A-2	6,500	19,945	2.38	24.9
	第５分団	落石号	日野 BDG-XZU378M	H20. 9	150	A-2	600	6,590	2.25	12.3
	第６分団	厚床号	日野 KC-FS4FMEA 改	H12. 5	390	A-2	6,500	19,865	2.23	20.7
	第８分団	歯舞号	日野 BDG-FT8JGWL 改	H19.12	227	A-2	3,000	12,200	2.26	13.0

・水槽付消防ポンプ自動車　７台　・消防ポンプ自動車　３台　・救助工作車　１台　・化学消防ポンプ自動車　１台
・25m屈折はしご付消防ポンプ自動車(1節3段伸縮)　１台　・救急自動車　３台　・指揮車　１台　・広報車　４台

小型動力ポンプ配置状況

所　　属	配 置 場 所	登録年月	ポンプ製作所	エンジン出力（Ｐｓ）	ポンプ級　別	最大放水量（㎥／分）	経過年月
第1分団	消　防　署	H13. 2	トーハツ	3.8	D1	0.22	19.10
第2分団	消　防　署	R 1. 6	トーハツ	40	B2	1.29	1. 6
第3分団	花咲号積載	H 8. 3	トーハツ	54	B3	1.40	24. 9
第4分団	幌　茂　尻	H27. 1	トーハツ	30	B2	1.00	5.11
	温　根　沼	H22. 9	トーハツ	30	B2	1.00	10. 3
	長　　節	H30. 8	トーハツ	30	B2	1.00	2. 4
第5分団	昆　布　盛	H23. 6	トーハツ	30	B2	1.00	9. 6
	浜　　松	H29.10	トーハツ	30	B2	1.00	3. 2
第6分団	厚床号積載	H12. 5	トーハツ	54	B3	1.42	20. 7
	別　当　賀	H27. 8	トーハツ	30	B2	1.00	5. 4
第7分団	友　　知	H28. 9	トーハツ	30	B2	1.00	4. 3
	双　　沖	H24. 8	トーハツ	30	B2	1.00	8. 4
第8分団	歯舞号積載	H19.12	トーハツ	54	B2	1.29	13. 0
第9分団	珸　瑤　瑁	H20.10	シバウラ	31	B2	1.00	12. 2
	納　沙　布	H25. 8	トーハツ	30	B2	1.00	7. 4
	温　根　元	H21.10	シバウラ	31	B2	1.00	11. 2

消防用資機材保有状況

品　　名	数　　量	品　　名	数　　量
ホ　ー　ス　65　㎜	494	照　明　器　具	16
ホ　ー　ス　50　㎜	222	耐　熱　服	5
ホ　ー　ス　40　㎜	135	ロープレスキュー用資器材	2
消 火 原 液 （ ℓ ）	2,770	拡　声　装　置	21
空　気　呼　吸　器	38	二　連　は　し　ご	6
空　気　ボ　ン　ベ	73	三　連　は　し　ご	6
ジェットシューター	68	か　ぎ　付　は　し　ご	6
チ　ェ　ー　ン　ソ　ー	4	発　電　機	16
エンジンカッター	6	エ　ア　ー　カ　ッ　タ　ー	1
熱 画 像 探 知 機	2	ガ　ス　検　知　器	1
排　煙　機	5	泡　管　槍	12
電動油圧救助器具	1	バ　ッ　テ　リ　ー　ソ　ー	2

消火薬剤現有状況

種　　別	総　　数（ℓ）	備　　蓄（ℓ）	車　　載（ℓ）
一般火災用消火薬剤	910	320	590
油 火 災 用 消 火 薬 剤	1,860	1,100	760
合　　計	2,770	1,420	1,350

水 利 施 設

( )前年数

区分 / 地区		算定数(箇所) (A)	整備数(箇所) (B)	比率 (B)/(A) (%)	消防水利の現況			
					消火栓(基)		防火水槽(基)	合計(基)
					公設	私設		
市街地		365	285(281)	78.1(77.0)	287(285)	9(9)	51(49)	347(343)
その他の地域	桂木	3	3(3)	100.0	3(3)			3(3)
	月岡町2丁目	2	2(2)	100.0	1(1)	1(1)		2(2)
	穂香	2	2(2)	100.0	2(2)	1(1)		3(3)
	牧の内	1	1(1)	100.0		1(1)		1(1)
	花咲港	24	24(24)	100.0	26(26)	5(5)	2(2)	33(33)
	幌茂尻	2	2(2)	100.0			2(2)	2(2)
	温根沼	3	2(2)	66.7			2(2)	2(2)
	東梅	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	長節	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	昆布盛	4	2(2)	50.0			2(2)	2(2)
	浜松	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	落石	14	14(14)	100.0	12(12)		4(4)	16(16)
	別当賀	1	1(1)	100.0			1(1)	1(1)
	厚床	6	6(6)	100.0	2(2)		4(4)	6(6)
	友知	7	8(8)	100.0	9(9)		1(1)	10(10)
	双沖	5	5(5)	100.0	5(5)			5(5)
	歯舞	19	19(19)	100.0	20(20)		2(2)	22(22)
	珸瑤瑁	16	15(15)	93.8	14(14)		1(1)	15(15)
	納沙布	3	3(3)	100.0	2(2)		1(1)	3(3)
	温根元	4	4(4)	100.0	2(2)		2(2)	4(4)
合計		490	407(403)	83.1(82.2)	385(383)	17(17)	84(82)	486(482)

救　急　関　係

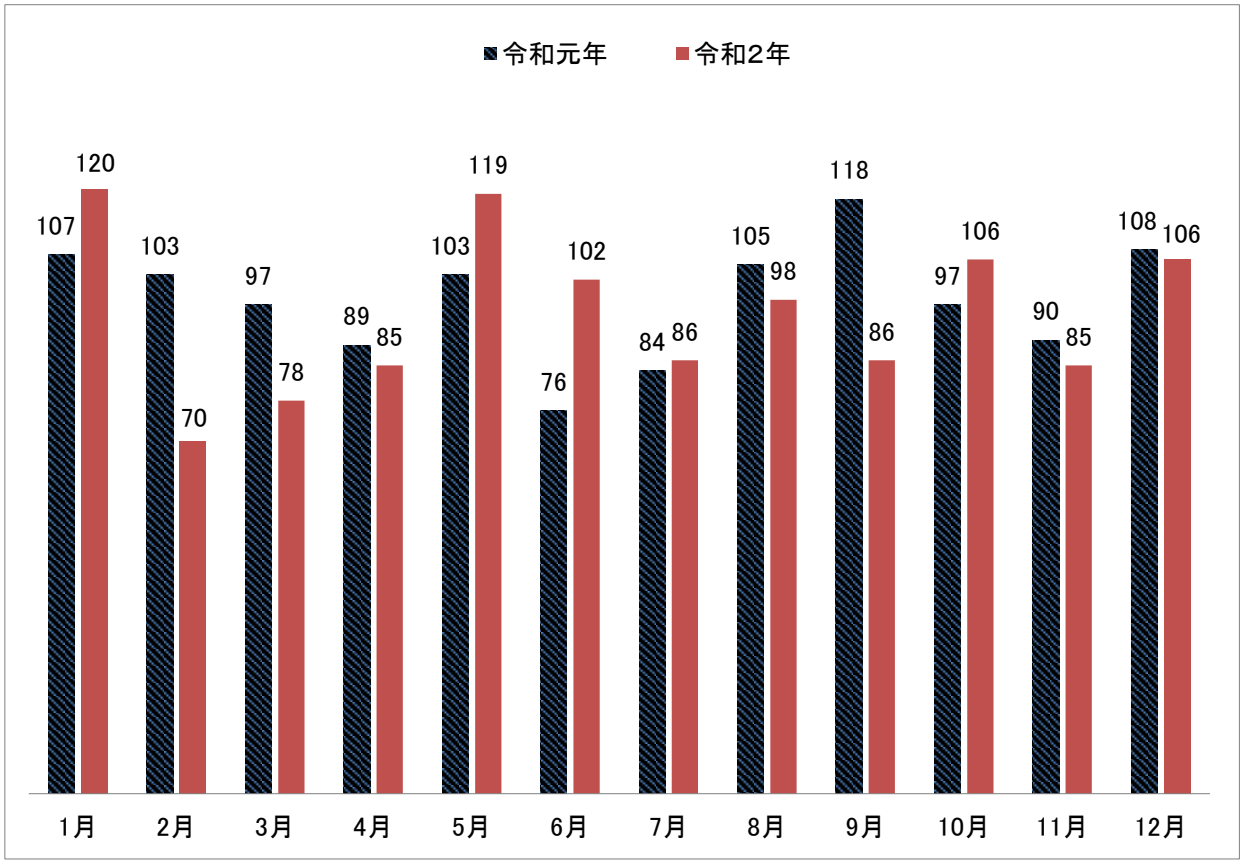
根室高等学校　救急救命講習

救急出動状況

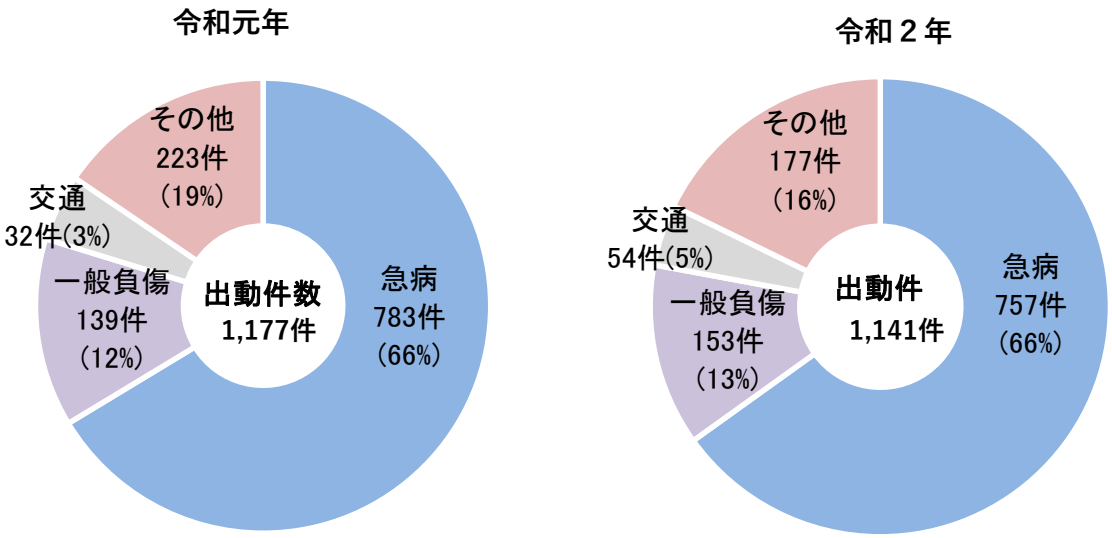
( )前年数

月別	区分＼種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
1	出動件数				3			20		2	72	23	120 (107)	13
	搬送件数				1			19		1	65	21	107 (100)	
	搬送人員				1			19		1	65	21	107 (100)	(7)
2	出動件数				3	1		6	1		47	12	70 (103)	7
	搬送件数				1	1		5	1		44	11	63 (90)	
	搬送人員				1	1		5	1		44	11	63 (90)	(13)
3	出動件数				2	1		11		3	53	8	78 (97)	2
	搬送件数				2	1		11		3	51	8	76 (88)	
	搬送人員				3	1		11		3	51	8	77 (88)	(9)
4	出動件数				6			16			59	4	85 (89)	4
	搬送件数				5			16			56	4	81 (83)	
	搬送人員				6			16			56	4	82 (83)	(6)
5	出動件数	1				3		18			84	13	119 (103)	14
	搬送件数					3		18			73	11	105 (96)	
	搬送人員					3		18			73	11	105 (97)	(7)
6	出動件数				3			13			70	16	102 (76)	9
	搬送件数				2			12			64	15	93 (68)	
	搬送人員				2			12			64	15	93 (68)	(8)
7	出動件数				9	1		9			58	9	86 (84)	6
	搬送件数				8	1		8			54	9	80 (78)	
	搬送人員				9	1		8			54	9	81 (78)	(6)
8	出動件数				3	3		11		4	67	10	98 (105)	12
	搬送件数				3	3		10		2	59	9	86 (98)	
	搬送人員				3	3		10		2	59	9	86 (98)	(7)
9	出動件数				5	2	1	18			49	11	86 (118)	10
	搬送件数				3	2	1	16			48	6	76 (103)	
	搬送人員				3	2	1	16			48	6	76 (104)	(15)
10	出動件数	3			1	2		12			71	17	106 (97)	17
	搬送件数					2		11			63	13	89 (87)	
	搬送人員					2		11			63	13	89 (87)	(10)
11	出動件数				6			9			58	12	85 (90)	12
	搬送件数				4			8			53	8	73 (82)	
	搬送人員				4			8			53	8	73 (82)	(8)
12	出動件数				13			10			69	14	106 (108)	12
	搬送件数				10			10			61	13	94 (99)	
	搬送人員				10			10			61	13	94 (99)	(9)
合計	出動件数	4			54	13	1	153	1	9	757	149	1,141 (1,177)	118
	搬送件数				39	13	1	144	1	6	691	128	1,023 (1,072)	
	搬送人員				42	13	1	144	1	6	691	128	1,026 (1,074)	(105)

月別救急出動件数



事故種別出動内訳



※　その他の事故種別内訳は、「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「転院搬送」「医師搬送」が含まれる。

事故種別・応急処置対象人員

種別 / 人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	691	42	144	147	1,024

応急処置内容

（ ）前年数

処置	件数	
止血	21	(29)
固定	100	(71)
人工呼吸	11	(4)
心マッサージ		
心肺蘇生	46	(32)
酸素吸入	251	(249)
気道確保	74	(49)
保温	2	(3)
被覆	34	(34)
在宅療法継続	131	(96)
除細動	4	(3)
薬剤投与	14	(9)
血圧測定	981	(1,023)
聴診器聴取	922	(897)
血中酸素飽和度	988	(1,038)
心電図	947	(941)
心肺機能停止前の静脈路確保		(2)
心肺機能停止後の静脈路確保	17	(10)
血糖測定	21	(8)
エピペン投与		
ブドウ糖溶液投与		(1)
その他の応急処置	899	(892)
合計	5,463	(5,391)

事故種別・傷病程度別搬送人員

種別 / 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合(%)
死亡				1	1		2		1	31		36	3.5
重症				4	3		14		1	108	66	196	19.1
中等症				5	8	1	72		4	313	60	463	45.1
軽症				32	1		56	1		239	2	331	32.3
その他													
合計				42	13	1	144	1	6	691	128	1,026	100.0
割合(%)				4.1	1.3	0.1	14.0	0.1	0.6	67.3	12.5	100.0	

年齢層別・傷病程度別搬送人員

年齢層別 / 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合(%)
死亡				8	28	36	3.5
重症			1	36	159	196	19.1
中等症	1	6	4	94	358	463	45.1
軽症		6	5	85	235	331	32.3
その他							
合計	1	12	10	223	780	1,026	100.0
割合(%)	0.1	1.2	1.0	21.7	76.0	100.0	

事故種別・年齢層別搬送人員

種別 / 年齢層別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合(%)
新生児											1	1	0.1
乳幼児				2			2			6	2	12	1.2
少年				1		1	5			2	1	10	1.0
成人				24	8		19	1	5	137	29	223	21.7
高齢者				15	5		118		1	546	95	780	76.0
合計				42	13	1	144	1	6	691	128	1,026	100.0
割合(%)				4.1	1.3	0.1	14.0	0.1	0.6	67.3	12.5	100.0	

事故種別・曜日別出動件数

種別 / 曜日別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合(%)
日曜日				1			23			125	22	171	15.0
月曜日				7	2		30		3	119	18	179	15.7
火曜日	1			10			16		3	96	14	140	12.2
水曜日	1			13	2		20		1	104	20	161	14.1
木曜日				8	3		23			99	24	157	13.8
金曜日				11	4	1	15		1	103	21	156	13.7
土曜日	2			4	2		26	1	1	111	30	177	15.5
合計	4			54	13	1	153	1	9	757	149	1,141	100.0
割合(%)	0.4			4.7	1.1	0.1	13.4	0.1	0.8	66.3	13.1	100.0	

休日・平日・時間別出動件数

区分＼種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他	
	休日				3			32			163	23			4	225
	平日	4			51	13	1	121	1	9	594	108	4		10	916
合計		4			54	13	1	153	1	9	757	131	4		14	1,141
時間別内訳	0～2							9			27	4				40
	2～4					1		5		1	41	2			1	51
	4～6				2	2		3		3	32	2				44
	6～8				5			16			65	5			1	92
	8～10	1			4	3		28		1	117	12	1		3	170
	10～12	1			11	2	1	23		1	78	19	2		1	139
	12～14	1			7	1		22			89	21	1		2	144
	14～16				10	1		13		2	75	15			3	119
	16～18				9	1		15		1	71	19			1	117
	18～20	1			4			4			74	11			1	95
	20～22				1	1		11			50	9			1	73
	22～24				1	1		4	1		38	12				57

医療機関別搬送人員

種別 / 告示別等	開設者別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
救急告示医療機関	国立												3	3
	公立					41	12	1	144	1	6	688	52	945
	公的												6	6
	私的	病院				1	1						61	63
		診療所												
	小計					42	13	1	144	1	6	688	122	1,017
その他の医療機関	国立													
	公立													
	公的													
	私的	病院										3	6	9
		診療所												
	小計											3	6	9
計	国立												3	3
	公立					41	12	1	144	1	6	688	52	945
	公的												6	6
	私的	病院				1	1					3	67	72
		診療所												
	小計					42	13	1	144	1	6	691	128	1,026
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	小計													
合計						42	13	1	144	1	6	691	128	1,026

転院搬送状況

( )前年数

種別 / 収容病院	管外	ドクターヘリ	市内	件数
釧路孝仁会記念病院	65 (74)	13 (20)		65 (74)
市立釧路総合病院	18 (28)	2 (4)		18 (28)
釧路赤十字病院	7 (21)	1 (1)		7 (21)
釧路労災病院	4 (7)	1 (1)		4 (7)
釧路三慈会病院	1 (3)			1 (3)
東北海道病院	(1)			(1)
市立根室病院			27 (40)	27 (40)
江村精神科内科病院			6 (1)	6 (1)
町立中標津病院				
町立別海病院				
根室共立病院				
合計	95 (134)	17 (26)	33 (41)	128 (175)

道東ドクターヘリ運航状況

( )前年数

出動区分 / 収容病院	救急現場出動	緊急外来搬送	施設間搬送	件数
釧路孝仁会記念病院	1		13 (20)	14 (20)
市立釧路総合病院	4 (1)	(1)	2 (4)	6 (6)
釧路赤十字病院			1 (1)	1 (1)
釧路労災病院			1 (1)	1 (1)
合計	5 (1)	(1)	17 (26)	22 (28)

備 考

1 救急現場出動とは、ドクターヘリが救急現場へ出動し治療開始するとともに、搬送時間短縮を目的に医療機関へ搬送することをいう。

2 緊急外来搬送とは、ドクターヘリが到着まで一時的に直近医療機関に搬送された傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。

3 施設間搬送とは、医療機関で初期治療が開始されている傷病者を他の医療機関に転院させるために搬送することをいう。

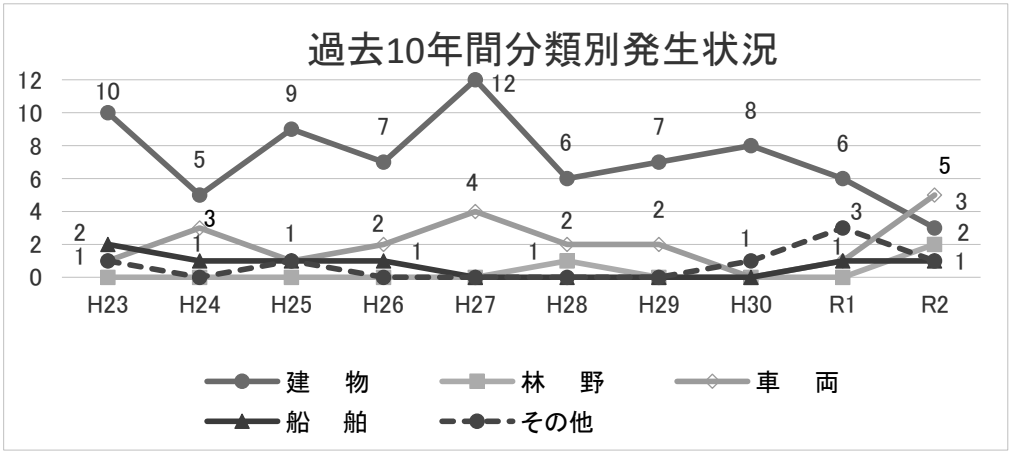
附　　表

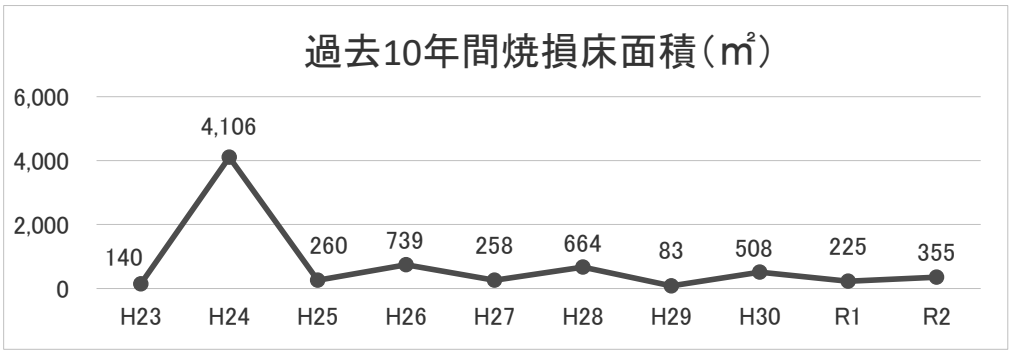
過去10年間の火災等発生状況

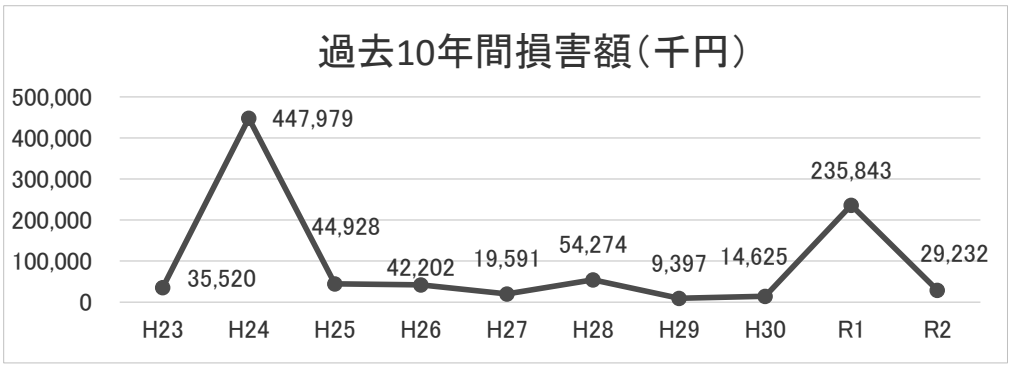
区分＼年別			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
火災件数	建物	全焼	2	3	2	3	1		1	2	4	2	20
		半焼	2				1	2	1	2			8
		部分焼	2	2	1	1	1	3	2	1		1	14
		ぼや	4		6	3	9	1	3	3	2		31
	林野							1				2	3
	車両		1	3	1	2	4	2	2		1	5	21
	船舶		2	1	1	1					1	1	7
	その他		1		1					1	3	1	7
	合計		14	9	12	10	16	9	9	9	11	12	111
焼損面積(㎡)	建物	床面積	140	4,106	260	739	258	664	83	508	225	355	7,338
		表面積	6		2	7	1			6	3		25
	林野 (a)							380				67	447
損害額（千円）			35,520	447,979	44,928	42,202	19,591	54,274	9,397	14,625	235,843	29,232	933,591
死傷者数	死者												
		高齢者											
	負傷者		2	3	1	2	1		1	1			11
		高齢者											
出火率			4.8	3.1	4.2	3.6	5.8	3.3	3.4	3.5	4.3	4.8	4.1
火事騒ぎ			4	8	8	9	9	3	10	2	4	7	64

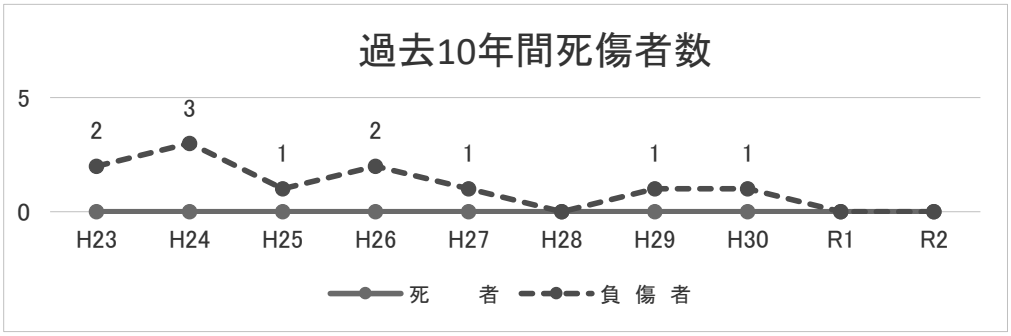
注　出火率：人口1万人当たりの出火件数

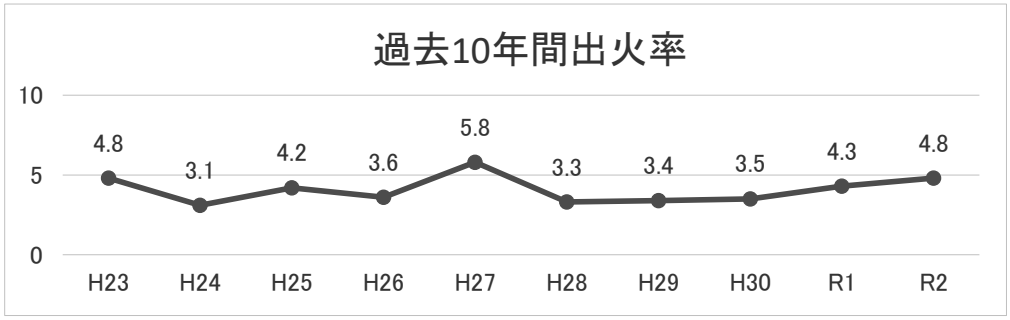
過去10年間の火災関係分類別推移











過去10年間の原因別火災等発生状況

原因＼年別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
たばこ	1 (1)			(1)	1	2		1	1 (1)		6 (3)
こんろ		(1)	2 (4)	(1)	3 (1)	(3)		1 (1)	(1)	1 (3)	7 (15)
かまど											
風呂かまど											
炉											
焼却炉						1					1
ストーブ	2 (1)	(1)	2		3	1	2	3	2		15 (2)
こたつ											
ボイラー				1							1
煙突・煙道	1	(1)				1	(3)	1		(1)	3 (5)
排気管	1	1	1	1							4
電気機器	3				(1)				1 (1)		4 (2)
電気装置	1		1	3	1	1					7
電灯電話等の配線	2	(1)	(2)		(4)		3 (2)			2 (2)	7 (11)
内燃機関											
配線器具	1			1				1			3
火あそび		(1)	(1)				(1)	(1)			(4)
マッチ・ライター				1		1					2
たき火											
溶接機・溶断機					(1)		1 (1)		1 (1)		2 (3)
灯火											
衝突の火花		1									1
取灰							(1)		1		1 (1)
火入れ											
放火		3									3
放火の疑い		(1)	(1)		(1)					(1)	(4)
その他	(1)	2 (2)	4	(6)	7	2	3 (1)	2	3	5	28 (10)
不明	2 (1)	2	2	3 (1)	1 (1)		(1)		2	4	16 (4)
合計	14 (4)	9 (8)	12 (8)	10 (9)	16 (9)	9 (3)	9 (10)	9 (2)	11 (4)	12 (7)	111 (64)

注 ( )火事騒ぎの件数

過去10年間の建物用途別火災及び死者発生状況

用途＼年別			H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		合計	
			件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者
建物	居住建物	住宅	6				5		2		5		4		3		4		1		1		31	
		共同住宅	1								3		1				1						6	
		併用住宅					1				1						2		1		1		6	
	百貨店																							
	旅館																							
	学校																							
	その他	工場・事務所・倉庫等	2		5		1		4		1		1		3		2		4		1		24	
		店舗・飲食店等	1				2		1		2				1								7	
		空家																						
	小計		10		5		9		7		12		6		7		9		6		3		74	
林野													1								2		3	
車両			1		3		1		2		4		2		2				1		5		21	
船舶			2		1		1		1										1		1		7	
その他			1				1												3		1		6	
合計			14		9		12		10		16		9		9		9		11		12		111	

過去の特殊火災記録（市制施行後）

年別	出火月日	出火場所	用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積	り災世帯数	り災人員	死者	負傷者	損害見積額（千円）
S33	1月 8日	緑町	住宅	ストーブ	1	50	1	2	1		2
	5月16日	花園町	共同住宅	不明	3	330	7	27	1		2,500
S34	1月12日	歯舞村大字友知	住宅、畜舎	ストーブ	2	152			8		（応援）
S35	11月13日	花咲港	水産加工場	不明	7	2,180					36,254
S36	7月12日	岬町	冷凍工場	溶接	2	1,161				1	76,647
	12月23日	花園町	病院	かまど	1	74	1	85	1		2,392
S37	5月20日	西月ヶ岡	乾燥工場	不明	3	2,376					10,646
	12月10日	温根元	住宅	ストーブ	1	120	1	9	2	2	1,050
S39	5月 1日	根室港北方埠頭	船舶	ストーブ					1	6	不明
S40	3月10日	海岸町	工場	ストーブ	2	668					23,242
	6月27日	昆布盛	住宅	不明	3	153	2		1		2,240
	10月20日	琴平町	造船工場	炉	6	1,199	2				23,306
	11月28日	月ヶ岡	住宅兼車庫	ストーブ	2	419	2				12,202
S41	1月22日	花咲港	漁業番屋	ローソク	3	83	1	1	1		2,626
	2月 3日	花咲港	船舶	ストーブ					1	1	100
	3月12日	弥栄町	アパート	ストーブ	1		1	1	1		10
	12月23日	花園町	共同住宅	ストーブ	2	443	3	20	1	1	3,364
	12月28日	海岸町	営業倉庫	不明	1	462					10,974
S42	1月26日	本町	倉庫	不明	3	1,259	1	2			37,120
	4月26日	弥生町	公民館	放火	1	281				8	1,822
	6月17日	琴平町	工場	不明	1	743					19,470
	7月 2日	栄町	学校	放火	1	1,133				2	21,000
	9月14日	海岸町	工場	煙突	1	728					10,711
	9月26日	海岸町	寄宿舎	煙突	1	538	1	29	1	5	4,670
	10月16日	光洋町	学校	放火の疑い	1	1,813	1	3		1	30,193
	10月18日	花咲港	住宅付加工場	放火の疑い	10	517	6	23			12,420
S43	2月13日	花咲港	船舶	たばこ							15,000
	5月31日	駒場町	事務所兼工場	煙突	1	81					69,265
S44	6月 3日	花園町	住宅	たばこ	1		1	2	1		20
	10月23日	花咲港	船舶	こんろ					1	1	813
S45	11月12日	本町	住宅	こんろ	1	124	3	8	1		2,265
S46	1月 5日	弥生町	病院	ストーブ	1				1		46
	3月 4日	本町	旅館	ローソク	3	771	3	17	2	1	15,418
	3月15日	穂香	造船所	たばこ	1	627				1	28,620
	4月22日	西浜町	工場	ストーブ	1	999					30,000
	7月 2日	琴平町	造船所	バーナー	4	889				1	16,235
	11月23日	花咲港	店舗付住宅	ふろがま	3	205	2	7	1		7,123

年別	出火月日	出火場所	用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積	り災世帯数	り災人員	死者	負傷者	損害見積額(千円)
S47	1月22日	汐見町	冷凍工場	不明	1	1,497					142,448
	3月 6日	琴平町	冷凍工場	ストーブ	1	497					61,317
	3月15日	温根元	住宅	不明	2	121	1	6	3	1	1,064
	12月30日	有磯町	住宅	ストーブ	1	30	1	3	1		831
S48	1月17日	花咲港	船舶	不明					1		1,670
	10月30日	花咲港	船舶	たばこ					1		30
S49	4月23日	歯舞	住宅付店舗	不明	1	129	1	4	1		5,994
	6月 8日	幌茂尻	住宅	ストーブ	1	185			1		435
	12月 7日	岬町	住宅	取灰	1	33	1	7	3	2	1,333
S50	5月30日	宝林町	加工場	不明	1	447					116,176
S52	2月25日	別当賀	住宅	ストーブ	1	93	1	4	1	1	652
	3月29日	大正町	冷凍工場	ストーブ	1	1,167				1	381,412
	7月16日	温根沼	寺院付住宅	線香	1	223	1	2	2		12,283
	8月25日	納沙布沖	船舶	不明					1	2	85,900
	12月18日	花園町	住宅	ストーブ	1	17	1	2	1	1	4,277
S54	6月 2日	宝林町	住宅	たばこ	1	86	1	4	3		4,249
	6月11日	駒場町	冷凍工場	不明	1	660				1	375,353
S55	4月 8日	穂香	納屋付住宅	ストーブ	1	130	1	4	1	1	7,505
	6月21日	光和町	住宅	ローソク	1	43	1	5	1		5,993
	9月14日	明治町	その他	放火					1		
S56	2月17日	落石西	冷凍工場	不明	1	1,257					147,324
	2月19日	汐見町	長屋式住宅	ストーブ	1	21	1	1	1		921
	5月 9日	花咲港	船舶	不明					7	1	2,687
	12月 6日	緑町	店舗併用住宅	不明	1	63	1	2	1		4,423
S57	11月19日	西浜町	作業場付冷蔵庫	不明	1	373					205,805
	12月19日	松ヶ枝町	住宅付貸店舗	放火	4	1,688	3	11	1	3	458,595
S58	4月27日	緑町	店舗	たばこ	1	30			1		979
	8月17日	緑町	店舗	不明	1	680				1	122,508
S59	1月18日	歯舞	造船所	不明	1	136			2	1	6,548
S62	1月19日	花咲港	住宅	不明	1	73	1	2	1		3,136
H2	2月27日	光洋町	住宅	ストーブ	1	42	1	4	2		1,770
H3	12月16日	汐見町	空家	不明	8	3,234	1	1			72,985
H5	4月 6日	納沙布	自家用軽自動車	放火					1		75
	12月6日	梅ヶ枝町	住宅付遊戯場	不明	1	750	2	3			159,447
H6	1月 7日	初田牛	住宅	不明	1	111	1	1	1		3,454
	1月10日	牧の内	乗用自動車	放火					1		120
	8月17日	平内町	住宅	放火	1	99	2	2	1		1,520

年別	出火月日	出火場所	用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積	り災世帯数	り災人員	死者	負傷者	損害見積額（千円）
H6	10月16日	幸町	共同住宅	不明	1	12	1	1	1		1,104
H7	8月 1日	歯舞	住宅	不明	1	182	1	6	2	1	5,705
H8	11月 8日	歯舞	住宅	不明	1	149	1	6	1		4,354
H9	1月26日	明治町	その他	放火					1		
H10	5月28日	駒場町	長屋住宅	不明	1	8	1	1	1		247
H11	10月 1日	明郷	乗用自動車	放火					1		140
H13	9月21日	落石沖	船舶	電灯電話等配線					2	3	5,080
H14	8月19日	花咲港沖	船舶	その他							100,320
	10月27日	昭和町	住宅	不明	2	104	3	7	1	2	2,193
H15	2月28日	幸町	住宅	不明	1	45	1	1	1		1,475
	5月15日	花咲港	船舶	電気装置					1	2	500
	6月 4日	牧の内	住宅	放火	3	152	1	2	1	1	2,464
	7月12日	納沙布	貨物自動車	放火					1		55
H17	4月25日	有磯町	その他	放火					1		
H18	12月 3日	幸町	共同住宅	ストーブ	1	57	2	5	1		6,876
H22	5月28日	西浜町	住宅	不明	1	58	1	1	1		1,158
H24	7月23日	花咲港	工場兼倉庫	放火	1	3525				1	383,252
H31	4月8日	昆布盛	工作物	その他							225,225
			合計（昭和）		104	30,257	55	293	63	47	2,691,614
			合計（平成）		25	8,528	19	41	23	10	979,519
			合計		129	38,785	74	334	86	57	3,671,133

備 考（本記録の計上方法）

1　死者が発生した火災

2　焼損面積　昭和32年8月1日から昭和52年まで 1,000㎡以上　昭和53年以降 3,000㎡以上

3　損害見積額　昭和46年以前 10,000千円以上 昭和47年から昭和52年まで 50,000千円以上

昭和53年以降 100,000千円以上

年別火災等発生状況(市制施行後)

区分 年別	火災件数										死者	負傷者	焼損面積			損害額 (千円)
	建物				林野	車両	船舶	その他	爆発	合計			建物(㎡)		林野 (a)	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや									床面積	表面積		
S32	5		4		1	1	2	1		14		1	2,325		694	26,444
S33	3		14		1	1	4	5		28	2	1	424		1,983	7,043
S34	7	3	11		3	4	8	1		37		5	1,225		400	19,340
S35	3	3	15		1	2	7	1		32		6	3,213		5	48,901
S36	6	4	15			1	5			31	1	2	2,691			90,238
S37	4	3	11		2	3	3	18		44	2	4	1,510		6,001	18,336
S38	4	2	18		4	2	4	18		52			1,724		550	17,441
S39	2	2	28		3	2	3	9		49	1	6	310		31	3,885
S40	9	1	28		8	1	4	1		52	1	2	3,204		566	74,976
S41	13	2	37		6	2	9	5		74	4	3	2,237		315	34,466
S42	22	11	26		10		4	3		76	1	20	10,403		2,023	180,767
S43	12	5	14		5	1	7			44		9	1,625		3,040	116,028
S44	6	2	29		7	1	12	4		61	2	3	418		1,333	10,792
S45	8	1	23		18	3	8	3		64	1	4	1,056		34,220	27,035
S46	13	4	21		10	2	7	3		60	4	9	4,429		463	126,152
S47	11	5	14		7	2	7	3		49	4	3	2,658		482	354,536
S48	4	5	11		16		5	13		54	2	2	437		1,970	34,645
S49	9	7	17		16	2	11	9		71	5	8	2,262		1,835	101,655
S50	8	5	19		5	2	4	6		49		6	2,083		303	182,092
S51	8	6	12		7	6	2	5		46		3	1,364		1,388	66,098
S52	11	4	23		6	3	4	4		55	5	6	2,517		283	528,250
S53	11	7	12		3	1	6	2		42		6	1,831		45	132,545
S54	5	7	6		2	2	2	1		25	3	1	1,519		510	407,565
S55	8	3	6		2		1	1		21	3	3	1,481		125	51,695
S56	8	7	13				5			33	9	7	3,309			260,308
S57	4	6	5		5	3	1			24	1	8	2,670		1,137	718,064
S58	3	4	6		6		6	2		27	1	8	1,046		2,032	218,907
S59	4	3	11		2	1	2			23	2	4	2,111		145	118,294
S60	3	3	3		2	1	2			14			593		108	19,987
S61	5	3	3			2	1			14		2	726			43,229
S62	8	7	6			5	1			27	1	8	1,623			140,733
S63	3	3	4			3	1			14		1	216			32,631

区分 年別	火災件数										死者	負傷者	焼損面積			損害額 (千円)
	建物				林野	車両	船舶	その他	爆発	合計			建物(㎡)		林野 (a)	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや									床面積	表面積		
H 1	4	3	2		3	2	2			16		2	1,210		582	85,387
H 2	7	2	3				1		1	14	2	6	768			82,936
H 3	3	1	3		1		1			9			3,563		460	113,191
H 4	6	2	8		2		1	1		20		5	1,582		16	116,900
H 5	6	3	5		4	2	2			22	1	2	2,148		1,151	273,945
H 6	5	1	11			1				18	4	3	714			29,088
H 7	6	3	4	1	2	1	1			18	2	5	1,154	107	471	75,203
H 8	2		6	1		2	1	1		13	1	1	476	8		70,805
H 9	5	1		4	3	2		4		19	1	2	679	36	116	46,237
H10	3	2	3	4	1	1	3	2		19	1	3	437	3	100	60,331
H11	3	1	2	2	1	3	2	2		16	1	1	1,172	10	15	55,966
H12	1	1	5	1	1	2	3			14		2	608	81	304	53,925
H13	1		3	2	2	2	2			12	2	5	126	53	689	47,686
H14	3	2	2		2	4	1	2		16	1	3	461	326	362	155,860
H15	7	2	4	6		4	3			26	4	10	927	64		67,541
H16	5	1	2	1	1	5	1	1		17		4	300	6	300	16,285
H17	2	1	2		1	3	1	1		11	1	2	331	66	19	28,169
H18	1	1	4	2	1	5	2			16	1	1	304	28	6	32,797
H19	2	1	1	1	1	3	3			12			293	21	6	34,399
H20	5		1	2	1	2	1	4		16		5	704	79	15	34,437
H21	1	1	5	4		4	2	3		20		5	215	33		26,080
H22	4	2	1	5		1		1		14	1	9	802	32		51,186
H23	2	2	2	4		1	2	1		14		2	140	6		35,520
H24	3		2			3	1			9		3	4,106			447,979
H25	2		1	6		1	1	1		12		1	260	2		44,928
H26	3		1	3		2	1			10		2	739	7		42,202
H27	1	1	1	9		4				16		1	258	1		19,591
H28		2	3	1	1	2				9			664		380	54,274
H29	1	1	2	3		2				9		1	83			9,397
H30	2	2	1	3				1		9		1	508	6		14,625
R 1	4			2		1	1	3		11			225	3		235,843
R 2	2		1		2	5	1	1		12			355		67	29,232

備考　建物火災のうち「ぼや」については平成7年から計上

火災発生状況（最多）

(1) 火災件数
1位　昭和42年（76件）
2位　昭和41年（74件）

(2) 建物火災件数
1位　昭和42年（59件）
2位　昭和41年（52件）

(3) 損害額
1位　昭和57年（718,064千円）
2位　昭和52年（528,250千円）

(4) 死者数
1位　昭和56年（9名）
2位　昭和49・52年（5名）

(5) 負傷者数
1位　昭和42年（20名）
2位　平成15年（10名）

火災発生状況（最少）

(1) 火災件数
1位　平成3・24・28・29・30年（9件）
2位　平成26年（10件）

(2) 建物火災件数
1位　令和2年（3件）
2位　平成17・19・24年（5件）

(3) 損害額
1位　昭和39年（3,885千円）
2位　昭和33年（7,043千円）

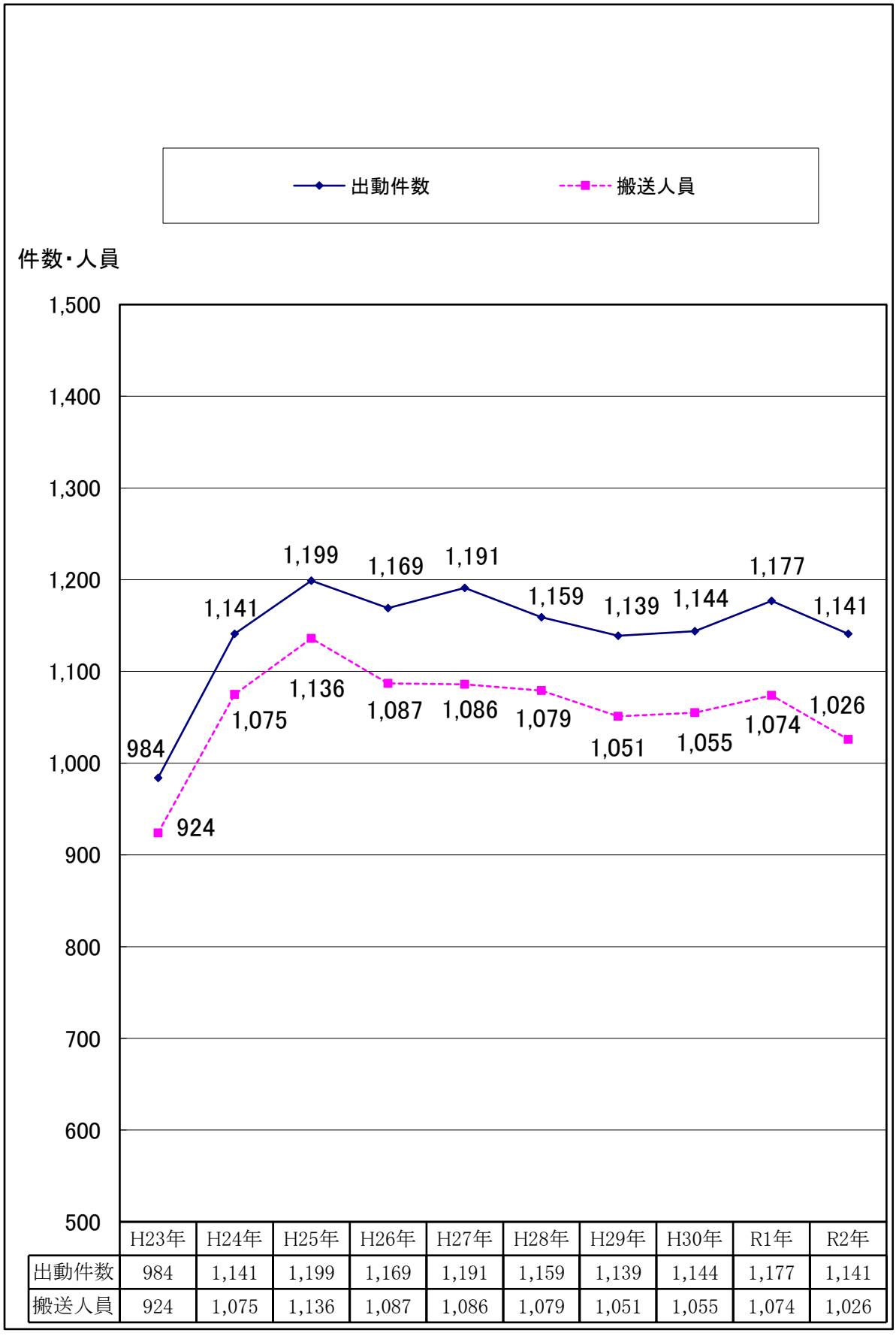
過去10年間の救助出動件数及び活動件数

区分／年別	出動件数	事故種別									
		火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸欠ガス事故	破裂事故	その他の事故
	活動件数	建物	建物以外								
H23	8			4	1		1				2
	6			3			1				2
H24	14			7	2			2			3
	6			1	2			1			2
H25	22			12	2						8
	12			7							5
H26	10			7							3
	5			2							3
H27	14			8	1			3			2
	6			4	1			1			
H28	13			11							2
	8			6							2
H29	10			3	2		2	1	1		1
	5			1			1	1	1		1
H30	12			6	1		2	1			2
	8			4	1			1			2
R1	8			4	1		1				2
	5			3	1						1
R2	13			9	1						3
	4			3							1
合計	124			71	11		6	7	1		28
	65			34	5		2	4	1		19

過去10年間の救急出動状況

区分＼年別	出動件数	種別											搬送人員	不搬送人員			
	搬送件数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			死亡	拒否	その他
H23	984	6		2	49	21	5	101	2	11	630	157	924	71	23	10	38
	913	2		2	47	19	5	97	2	7	591	141					
H24	1,141	10			70	19	4	118	5	13	676	226	1,075	77	18	31	28
	1,064	3			59	16	3	114	4	6	641	218					
H25	1,199	7		1	77	25	5	127	5	15	755	182	1,136	93	20	21	52
	1,106	1		1	68	25	5	122	2	10	707	165					
H26	1,169	10		1	39	26	3	134		6	751	199	1,087	90	23	23	44
	1,079	1		1	38	26	3	130		4	697	179					
H27	1,191	11		1	58	15	3	121	1	14	763	204	1,086	118	22	31	65
	1,073				48	14	3	114	1	9	712	172					
H28	1,159	7		1	52	21	3	117	6	7	768	177	1,079	89	23	12	54
	1,070				42	21	3	115	6	6	728	149					
H29	1,139	6		7	44	26	2	136	2	7	730	179	1,051	95	33	12	50
	1,044	1		5	40	26	2	128	1	3	680	158					
H30	1,144	8		1	52	12	2	141	2	8	731	187	1,055	98	26	33	39
	1,046	1		1	45	11	2	134	2	4	681	165					
R1	1,177	5		2	32	12		139		11	783	193	1,074	105	28	29	48
	1,072			1	29	12		126		8	721	175					
R 2	1,141	4			54	13	1	153	1	9	757	149	1,026	118	33	9	76
	1,023				39	13	1	144	1	6	691	128					
合計	11,444	74		16	527	190	28	1,287	24	101	7,344	1,853	10,593	954	249	211	494
	10,490	9		11	455	183	27	1,224	19	63	6,849	1,650					

過去10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
出動件数	984	1,141	1,199	1,169	1,191	1,159	1,139	1,144	1,177	1,141
搬送人員	924	1,075	1,136	1,087	1,086	1,079	1,051	1,055	1,074	1,026

『自然災害や消防・防災に関することなど』

消防・災害
相談ダイヤル

24-0119

（電話相談を２４時間受け付けています。）